JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2007
実施報告書



CoFesta

2007

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行本部

JAPAN INTERNATIONAL CONTENTS FESTIVAL

目次

【はじめに】……2

【開催概要】……3

【運営体制】
運営組織図、実行委員会の開催概要……4
実行委員会 委員一覧……5
エグゼクティブ・プロデューサー、
実行本部、連絡会……6

【CoFesta の「顔」】
メインキャラクター……7
アートディレクター……8
公式テーマ曲……9

【百人委員会】
百人委員会 発足式……10
委員一覧……11
ロゴマーク一覧……12

【オープニング＆クロージング】
グランドオープニング セレモニー……14
グランドオープニング レセプション、
クロージングパーティ……15

【*オフィシャルイベント】
東京ゲームショウ2007……16
CEDEC 2007……17
DiGRA 2007……18
劇的3時間SHOW
―10人のコンテンツプロフェッショナルが語る―……19
CEATEC JAPAN 2007……20
Japan Animation Contents Meeting 2007……21
ASIAGRAPH 2007 in Tokyo……22
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2007……23
2007 4th TAM～
第4回東京アジア・ミュージックマーケット……24
第20回東京国際映画祭……25
TIFFCOM 2007～アジア・パシフィック・
エンタテインメント・マーケット……26
秋葉原エンタまつり2007……27
第4回文化庁映画週間 – Here & There……28
ジャパン・ロケーション・マーケット2007……29
第24回 ATP賞テレビグランプリ2007……30
第34回「日本賞」教育番組国際コンクール……31
東京コンテンツマーケット2007……32
国際コンテンツ人材交流・育成セミナー……33

【**パートナーイベント】
クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西(CrIS関西)……34
京都国際映画カンファレンス……34
京都マンガシンポジウム……34
アニメーション神戸実践型ワークショップ……35
アジアコンテンツマーケット(ACM) in 関西……35
アジアスクリーニングフォーラム……36
田辺・弁慶映画祭……36
REMIX07 TOKYO……37
山形国際ドキュメンタリー映画祭2007……37
全映協フォーラム2007 in 名古屋……38
福岡コンテンツマーケット2007……38
第6回 横濱学生映画祭……39

【広報】
広報年間スケジュール、第1回記者発表……40
第2回記者発表、メインキャラクター任命式……41
TIFFCOM 2007出展、海外広報……42
第11回香港フィルマート、
第60回カンヌ映画祭レセプション……43
広報制作物……44
ウェブサイト、新聞広告……45
交通広告、メディア露出状況……46
掲載媒体一覧……47

【一体感の創出】
オフィシャル・パートナーイベントでの
CoFesta連動企画……49
ムービングロゴのプロジェクション……50
CoFesta Pass……51
オフィシャル・パートナーイベントの
公式行事等へのCoFesta正副委員長の出席……52

【CoFestaアンケート調査】……53

・氏名は敬称略を基本とします。
・株式会社、社団法人、財団法人は、それぞれ㈱、㈳、㈶と略すことを基本とします。

＊オフィシャルイベント
各業界・組織が主催し、CoFestaのメインイベントとなるに相応しいイベント。実行委員会が承認。
＊＊パートナーイベント
準オフィシャルイベントの位置づけで、実行本部が認定し、実行委員会に報告。

はじめに



JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実施報告書発行にあたり

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2007

実行委員長　大谷　信義

「JAPAN国際コンテンツフェスティバル（愛称CoFesta）」の開催にあたり、皆様方から多大なご支援、ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。お陰様で、第1回目のCoFesta2007は、9月19日(水)から10月28日(日)までの会期中に、約80万人に上る方々にご来場いただき、無事終了しましたことを報告させていただきます。

CoFesta2007は、18のオフィシャルイベントと11のパートナーイベントが実施される世界最大規模かつ初めての統合的コンテンツフェスティバルであり、試行錯誤の連続でしたが、皆様から温かい激励、建設的なご意見、率直なご感想、ご期待のお言葉を頂戴し、大変勇気づけられました。ご厚情に感謝申し上げます。

我が国のゲーム、アニメ、マンガ・キャラクター、放送、音楽、映画などのコンテンツ産業は、押しなべて世界最高の水準にあり、複数のコンテンツのイベント、マーケットを秋に集めることにより相乗効果を出すという考えのもと、CoFestaが開催されました。主催者として、マルチコンテンツが“リンク”する状況を作ることが役目だと認識しております。今回は、会期が40日間に亘り、ご不便をお掛けいたしましたが、次回以降は会期の短縮を目指し、特に海外から来ていただく方々に、複数のイベント、マーケットを回りやすい状況をご提供したいと思っております。

重延浩エグゼクティブ・プロデューサーが立てた第1回目のテーマは「あたらしい」でした。各イベントで、日本の新しい感覚、技術の一端を展示、発表していただきました。また、これだけのコンテンツ産業が集まり、協力し合って、フェスティバルを行ったのは初めてですので、「あたらしい」の一応の達成は出来たのではないかと思っております。
2年目に掲げているテーマは「おもしろい」です。CoFestaをさらに魅力あるものとするために、2008はこの課題に取り組んでいきたいと思います。

CoFesta2007の実施報告書がこのようにまとまりました。ご一読いただけると幸いです。今年の成果を来年の糧として、また至りませんでした点は改善し、今後、回を重ねていき、より意義深く広く世界に認知されるフェスティバルに育てていきたいと考えています。

第1回目であるCoFesta2007に参加くださいましたオフィシャルイベントとパートナーイベントの皆様、及び関係者各位の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷信義
N. Ohtani

開催概要

名　称：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル(愛称CoFesta、コ・フェスタ)
主　催：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
会　期：　2007年9月19日(水)～10月28日(日)
総来場者数：　約80万人

グランドオープニングセレモニー＆レセプション	9/19(水)	東京国際フォーラム　ホールC
クロージングパーティ	10/28(日)	東急文化村(Bunkamura)　the Museum

オフィシャルイベント(18)

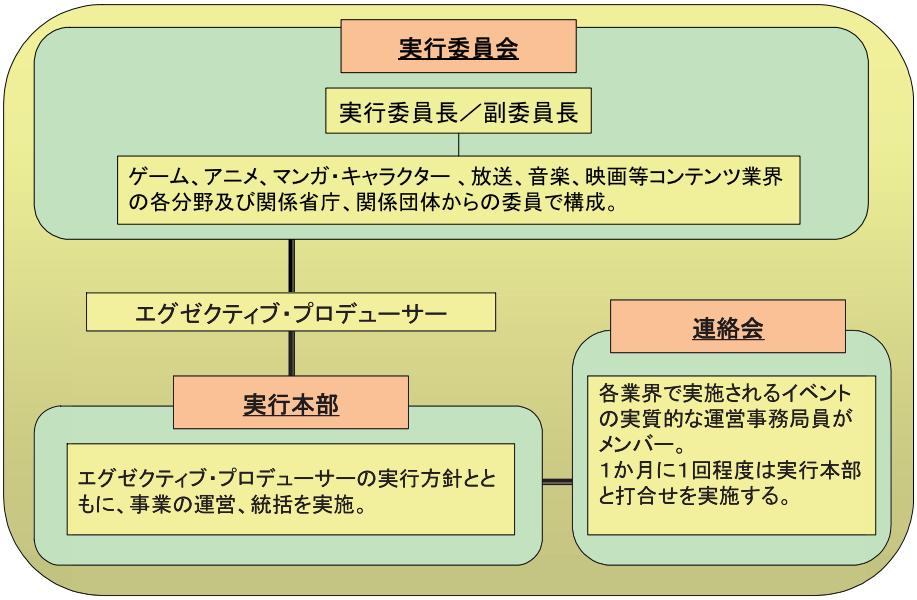
・東京ゲームショウ2007	9/20(木)～9/23(日)	幕張メッセ
・CEDEC 2007	9/26(水)～9/28(金)	東京大学本郷キャンパス
・DiGRA 2007	9/24(月)～9/28(金)	東京大学本郷キャンパス
・劇的3時間SHOW ―10人のコンテンツプロフェッショナルが語る―	10/1(月)～10/10(水)	スパイラルホール(青山)
・CEATEC JAPAN 2007	10/2(火)～10/6(土)	幕張メッセ
・Japan Animation Contents Meeting 2007	10/4(木)～10/7(日)	秋葉原UDX
・ASIAGRAPH 2007 in Tokyo	10/11(木)～10/14(日)	秋葉原UDX
・国際ドラマフェスティバル　in TOKYO 2007	10/12(金)～10/13(土)	スパイラルホール(青山)
・2007 4th TAM ～第4回東京アジア・ミュージックマーケット	10/15(月)～10/19(金)	恵比寿、渋谷、代官山
・第20回東京国際映画祭	10/20(土)～10/28(日)	六本木ヒルズ、Bunkamura(渋谷)
・TIFFCOM 2007 ～アジア・パシフィック・エンタテインメント・マーケット	10/22(月)～10/24(水)	六本木ヒルズ
・秋葉原エンタまつり2007	10/20(土)～10/28(日)	秋葉原
・第4回文化庁映画週間 ―Here & There	10/20(土)～10/25(木)	六本木ヒルズ、Bunkamura(渋谷)
・ジャパン・ロケーション・マーケット2007	10/22(月)～10/24(水)	六本木ヒルズ
・第24回　ATP賞テレビグランプリ2007	10/23(火)	六本木ハリウッドホール
・第34回「日本賞」教育番組国際コンクール	10/23(火)～10/29(月)	NHK放送センター(渋谷)
・東京コンテンツマーケット2007	10/25(木)～10/26(金)	六本木ヒルズ
・国際コンテンツ人材交流・育成セミナーⅠ	9/20(木)～9/21(金)	明治大学アカデミーコモン
国際コンテンツ人材交流・育成セミナーⅡ	10/26(金)～10/27(土)	六本木ヒルズ

パートナーイベント(11)

・京都国際映画カンファレンス	9/29(土)～9/30(日)	東映京都撮影所　他
・京都マンガシンポジウム	9/30(日)	京都国際マンガミュージアム
・アニメーション神戸実践型ワークショップ	9/29(土)～9/30(日)	ジーベックホール
・アジアコンテンツマーケット(ACM) in　関西	10/1(月)～10/2(火)	マイドームおおさか
・アジアスクリーニングフォーラム	9/30(日)	マイドームおおさか　他
・田辺・弁慶映画祭	10/4(木)～10/6(土)	紀南文化会館大ホール
(以上、クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西(CrIS関西))		
・REMIX07 TOKYO	9/19(水)	東京国際フォーラム
・山形国際ドキュメンタリー映画祭2007	10/4(木)～10/11(木)	山形市中央公民館　他
・全映協フォーラム2007 in　名古屋	10/12(金)	ミッドランドスクエア
・福岡コンテンツマーケット2007	10/23(火)	アクロス福岡
・第6回　横濱学生映画祭	10/26(金)～10/28(日)	横浜情報文化センター　情文ホール　他

運営体制

■運営組織図



■実行委員会の開催概要

●第1回実行委員会　2月5日（月）16:30～18:00
経団連会館8F　蔵王の間にて
議題
1.開会挨拶
2.委員紹介
3予算案説明
4.議案
・実行委員会規約制定の件
・運営組織案承認の件
・委員長、副委員長、エグゼクティブ・プロデューサー及び監事選出の件
・全体概要案、広報計画案承認の件
・名称案検討の件
5.　重延浩エグゼクティブ・プロデューサー挨拶
6.討議
7.今後のスケジュール説明
8.閉会

●第2回実行委員会　3月19日（月）15:30～17:00
経団連会館8F　蔵王の間にて
議題
1.開会挨拶
2.議案
・重延浩エグゼクティブ・プロデューサー作成の実行計画案承認の件
・名称決定の件
・アートディレクター依頼の件
・オフィシャルイベント及びパートナーイベント承認の件
・第1回記者発表及びその後の広報計画案承認の件
3.討議
4.今後のスケジュール説明
5.閉会

●第3回実行委員会　5月10日（木）13:00～14:30
経団連会館10F　1002会議室にて
議題
1.開会挨拶
2.報告事項
・全イベント一覧表及びスケジュール表の提示
・オープニング等実行本部実施イベントの現状報告
・新たなパートナーイベントの報告
・第1回連絡会（4月27日（金））の報告
3.討議事項
・シンボルマークについて
・略称について
・新たなオフィシャルイベントについて
・カンヌ映画祭でのPRイベント内容及び今後の広報計画
・実行本部実施イベント及び全体に係る意見聴取
4.今後のスケジュール説明
5.閉会

●第4回実行委員会　7月4日（水）16:00～17:30
経団連会館9F　906会議室にて
議題
1.開会挨拶
2.報告事項
・オープニング、クロージングの状況報告
・公式パンフレット、ポスター、チラシ案の提示
・カンヌPRイベント（5月17日（木））、第2回記者発表（6月12日（火））報告
・ウェブサイトの状況報告
・百人委員会委員就任状況及び発足式開催の報告
3.審議事項
・新たなオフィシャルイベントについて
・今後の広報計画について
4.今後のスケジュール説明
5.閉会

運営体制

■実行委員会　委員一覧



2007年11月30日現在

【委員長】
大 谷 信 義　㈳映画産業団体連合会 常任理事（松竹㈱代表取締役会長）

【副委員長】
依 田　巽　㈳日本経済団体連合会 産業問題委員会
エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長
㈱ギャガ・コミュニケーションズ 代表取締役会長）
迫 本 淳 一　NPO法人 映像産業振興機構（VIPO） 理事長
（松竹㈱代表取締役社長）
【副委員長兼エグゼクティブ・プロデューサー】
重 延　浩　㈱テレビマンユニオン 代表取締役会長・CEO

【監事】
岡 田 裕 介　㈳日本映画テレビ技術協会 会長（東映㈱代表取締役社長）
工 藤 英 博　㈳全日本テレビ番組製作社連盟 理事長
（映画専門大学院大学 学長）

【委員】
伊 沢　正　日本貿易振興機構 副理事長
植村伴次郎　㈳衛星放送協会 会長（㈱東北新社 代表取締役会長）
角 川 歴 彦　第20回東京国際映画祭 チェアマン
（㈱角川グループホールディングス 代表取締役会長兼CEO）
佐 藤　修　㈳日本レコード協会 顧問
（㈱ポニーキャニオン 代表取締役会長）
佐 藤 辰 男　秋葉原エンタまつり 実行委員長
（㈱メディアワークス 代表取締役会長）
鷲 見 良 彦　㈶デジタルコンテンツ協会 専務理事
野 間 省 伸　㈱講談社 代表取締役副社長
橋 本 元 一　日本放送協会 会長
広 瀬 道 貞　㈳日本民間放送連盟 会長（㈱テレビ朝日 取締役会長）
松 岡　功　㈳日本映画製作者連盟 会長（東宝㈱代表取締役会長）
松 谷 孝 征　中間法人 日本動画協会 理事長
（㈱手塚プロダクション 代表取締役社長）
矢 内　廣　ぴあ㈱代表取締役会長兼社長
和 田 洋 一　㈳コンピュータエンターテインメント協会 会長
（㈱スクウェア・エニックス 代表取締役社長）
（以上、五十音順）
松 村 博 史　内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長
松 井 哲 夫　総務省 大臣官房審議官（情報通信政策局担当）
山 本 忠 通　外務省 広報文化交流部長
尾山眞之助　文化庁 文化部長
吉 崎 正 弘　経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）
中尾根明子　東京都 産業労働局 観光部長

運営体制



■エグゼクティブ・プロデューサー

CoFestaの企画、運営を円滑に実施するため、重延浩㈱テレビマンユニオン代表取締役会長・CEOがエグゼクティブ・プロデューサーに就任した。

■実行本部

エグゼクティブ・プロデューサーの実行方針とともに、事業を実際に運営する組織として、実行本部を設置した。
メンバーはNPO法人映像産業振興機構(VIPO)職員で構成。経済産業省及び㈳日本経済団体連合会等の職員を交えて毎週会議を行い、具体的な行動項目を決定し、実行した。



■連絡会

●連絡会
CoFesta実行本部と各オフィシャルイベント事務局代表者が集まり、定期的に連絡会を行った。それにより実務レベルでの意思疎通を図り、協力体制を固めた。

第１回 4月27日(金)
第２回 6月 8日(金)
第３回 8月31日(金)

●広報連絡会
連絡会から広報連絡会が派生し、広報に関する項目のみにテーマを絞って会議を行い、具体的な行動項目を定め、実行した。

第１回 5月29日(火)
第２回 6月29日(金)

●秋葉原連絡会
秋葉原を会場とするJapan Animation Contents Meeting 2007、ASIAGRAPH 2007、秋葉原エンタまつり2007の3イベントによる連絡会。
全2回の会合を持ち、会場予約などの運営面、共通広告などの広報面での共通メリットを探った。

第１回 5月16日(水)
準備会 5月18日(金)
第２回 6月 1日(金)

CoFestaの「顔」

■CoFesta の「顔」とは

CoFestaという新規イベントを国内外に広く知らしめるため、
日本を代表し、国際的に活躍する俳優・
トップクリエーター・アーティストを登用し、
それぞれの分野でクリエイティブな活動及びPRを実施。
コンテンツ業界のみならず、
一般の人々へのCoFestaの知名度向上を図った。

■メインキャラクター 役所広司



CoFestaのメインキャラクターを務めた役所広司氏は、日本はもとより世界で活躍する国際的俳優である。今回ジャパン・マルチ・コンテンツの代表として、CoFestaメインキャラクターに就任した。

メインキャラクター就任式、百人委員会発足式、オープニングセレモニー＆レセプション、クロージングパーティなど、CoFestaのさまざまなイベントに登場し、ジャパン・コンテンツの魅力を国内外に伝えた。

●プロフィール

役所広司／Koji Yakusho

俳優



1956年1月1日長崎県生まれ。96年『Shall we ダンス？』(周防正行監督)、『眠る男』(小栗康平監督)、『シャブ極道』(細野辰興監督)で14の国内の映画賞で主演男優賞を独占。また、『CURE キュア』(97・東京国際映画祭主演男優賞、黒沢清監督)、『うなぎ』(97・カンヌ国際映画祭パルムドール、今村昌平監督)、『どら平太』(00・市川崑監督)、『ユリイカ』(01・カンヌ国際映画祭、国際映画批評家連盟賞、エキュメニック賞、青山真治監督)、『赤い橋の下のぬるい水』(01・シカゴ国際映画祭主演男優賞、今村昌平監督)など、国際映画祭への出品も多く、数々の賞も受賞している。05年には『SAYURI』(ロブ・マーシャル監督)、06年カンヌ国際映画祭・監督賞、エキュメニック賞、ゴールデングローブ賞・作品賞、米アカデミー賞作品賞ノミネートの『BABEL』(07・日本公開、(アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ監督)に出演するなど、日本を代表する国際的俳優として活躍している。
その他『KAMIKAZE TAXI』(95・原田眞人監督)、『ドッペルゲンガー』(03・黒沢清監督)、『笑いの大学』(04・星 護監督)、『THE 有頂天ホテル』(06・三谷幸喜監督)などに出演。今年は 『それでもボクはやってない』(周防正行監督)、『叫 さけび』(黒沢清監督)、『アルゼンチンババア』(長尾直樹監督)、『BABEL』、『象の背中』(井坂聡監督)が公開。
今後は日・加・伊合作の『SILK』(フランソワ・ジラール監督、08年春公開)、『パコと魔法の絵本』(中島哲也監督、08年秋公開)が公開待機中である。

CoFestaの「顔」





■アートディレクター　佐藤可士和

CoFestaのシンボルマークの制作をはじめ、トータルでのアートディレクションを手がけたのが、佐藤可士和氏。
いまやトップクリエーターとして活躍する彼が、CoFestaのアートディレクションのテーマとして選んだのが、「Multi Contents Link」。

「Multi Contents Link」
あらゆるコンテンツが相互に連携、影響し合いながらリンクして、
新たな可能性を創造していく様を
Contentsの頭文字Cをモチーフにシンボライズ。
日本からグローバルに発信する新しいプロジェクトのイメージを
斬新且つインパクトをもって表現した。

カラーリングの考え方はマルチカラーグラデーションを基本とし、
多彩な色相のグラデーションで展開することにより、
様々な人、情報、メディアが集まり、
交流しながら広がるコミュニケーションの輪の楽しさを象徴している。

●シンボルマーク

JAPAN
INTERNATIONAL
CONTENTS
FESTIVAL

JAPAN
INTERNATIONAL
CONTENTS
FESTIVAL

●プロフィール

佐藤可士和／Kashiwa Sato

アートディレクター/クリエイティブディレクター

1965年東京生まれ。博報堂を経て「サムライ」を設立。
スマップ、Mr. Childrenなどミュージシャンのアートワーク、キリン極生、生黒、キリンレモンの商品開発から広告キャンペーン、TSUTAYA TOKYO ROPPONGIのVIと空間ディレクション、楽天グループ、明治学院大学のブランディング、NHK教育「えいごであそぼ」のアートディレクション、NTT DoCoMo「FOMA N702iD」のプロダクトデザイン、ユニクロNYグローバル旗艦店のクリエイティブディレクション等。
進化する視点と強力なビジュアル開発力によるトータルなクリエイションは多方面より高い評価を得ている。
最新の仕事は国立新美術館のシンボルマークとサイン計画。
毎日デザイン賞、東京ADCグランプリ、朝日広告賞、亀倉雄策賞、東京TDC金賞、日本パッケージ大賞金賞ほか多数受賞。
東京ADC、東京TDC、JAGDA会員。明治学院大学客員教授。

CoFestaの「顔」

■公式テーマ曲　久石 譲



作曲家の久石譲氏は、数多くのヒット作品の作曲、指揮、演奏、プロデュース、コンサートを手がける日本音楽界の第一人者。
50本以上の映画作品の音楽監督を担当し、映画監督やイベントプロデューサーとしてもマルチな才能を発揮する。

国際舞台で活躍する久石譲氏がCoFestaのために書き下ろした公式テーマ曲“Links”は、オープニング・セレモニーにて、約1,000名の観客の前で初披露された。

久石譲氏と東京フィルハーモニー交響楽団とのコラボによるライブパフォーマンスは圧巻で、壮大なテーマ曲となった“Links”が圧倒的な迫力とスケールで演奏され、会場は拍手の嵐に包まれた。



テーマ曲“Links”はCoFestaの様々なイベント会場やセレモニーにて効果的に使用された。

●プロフィール

久石 譲／Joe Hisaishi

作曲家

国立音楽大学在学中よりミニマルミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家としてコンサートの作曲、演奏、プロデュースを数多く行う。1982年ファーストアルバム「INFORMATION」を発表し、ソロアーティストとして活動を開始。以後「Piano Stories」をはじめ、多数のソロアルバムを生み出し、ジャンルにとらわれない独自のスタイルを確立する。
映画「風の谷のナウシカ」以後、宮崎駿監督の「となりのトトロ」「もののけ姫」や北野武監督の「HANA-BI」「菊次郎の夏」など50本以上の映画音楽を担当し、これまで数度にわたる日本アカデミー賞音楽賞最優秀音楽賞をはじめとした数々の賞を受賞。日本映画には欠かせない存在となる。
2001年、自らも映画監督としてデビューを果たし、「Quartet カルテット」を製作。音楽・脚本（共同）をも手掛けた本作品は、日本初の本格的な音楽映画として全国公開されただけでなく、モントリオール映画祭のワールドシネマ部門正式招待作品に選ばれ、国内外で高い評価を受けた。
イベントプロデューサーとしては、1998年に開催された「長野パラリンピック冬季競技大会」式典・文化イベントの総合演出を務めたほか、「うつくしま未来博」（2001年 福島）でもメインイベントの総合演出を手掛け大きな反響をよんだ。
また、演奏活動も精力的に行っており、毎年行われている全国ツアーではピアノソロや、アンサンブル、オーケストラといったさまざまなスタイルを披露。国内はもちろんのこと、海外からも高い評価を受けている。

百人委員会









■百人委員会とは

正式名称： JAPAN国際コンテンツフェスティバル百人委員会
（通称：百人委員会）
設立主旨： CoFestaを産業界から支援することを目的とする
CoFesta2007活動内容： 百人委員会発足式の開催、発足式及びオープニング＆クロージングでの委員一覧・企業ロゴマーク一覧パネル掲載、オープニング＆クロージングへの参加、CoFesta公式パンフレットおよびウェブサイトへの委員一覧・企業ロゴマーク一覧掲載、印刷物（ポスター、チラシ、公式パンフレット）の掲示・展示協力

■百人委員会　発足式

日　時： 9月4日(火) 12:10～13:00
場　所： アーバンネット大手町21F LEVEL XX I（レベル21） スタールーム
登壇者： 甘利明 経済産業大臣
： 役所広司 メインキャラクター
： 岡村正 百人委員会 委員長
（㈱東芝 取締役会長）
： 依田巽 百人委員会 委員・実行委員会 副委員長
（㈱ギャガ・コミュニケーションズ 代表取締役会長）
司　会： 藤村さおり フジテレビアナウンサー
出席者数： 百人委員会就任企業113社より約90社が参加
次　第：
・司会挨拶　藤村さおり フジテレビアナウンサー
・発足式 開会挨拶　大谷信義 委員長
・来賓挨拶　甘利明 経済産業大臣
・コ・フェスタ概要説明　重延浩 エグゼクティブ・プロデューサー
・報告事項
百人委員会 規約の制定
百人委員会 委員長の選出
・挨拶　役所広司 メインキャラクター
・挨拶 乾杯発声　岡村正 百人委員会 委員長
・歓談
・閉会挨拶　依田巽 百人委員会 委員・実行委員会 副委員長

百人委員会　　委員一覧

2007年11月30日現在　百人委員会就任企業113社

【委員長】
岡 村　正　株式会社東芝　取締役会長

【委員　社名五十音順】
伊藤源嗣　株式会社IHI　代表取締役会長
稲垣正夫　株式会社アサツー ディ・ケイ　代表取締役会長
秋山耿太郎　朝日新聞社　代表取締役社長
池田弘一　アサヒビール株式会社　代表取締役会長
丹羽宇一郎　伊藤忠商事株式会社　取締役会長
亀井　淳　株式会社イトーヨーカ堂　代表取締役社長
長瀬文男　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス　代表取締役社長
石橋博良　株式会社ウェザーニューズ　代表取締役会長
菅田史朗　ウシオ電機株式会社　代表取締役社長
三枝　武　株式会社NHKエンタープライズ　代表取締役社長
鈴木正一郎　王子製紙株式会社　代表取締役会長
篠塚勝正　沖電気工業株式会社　代表取締役社長
井上泰一　角川映画株式会社　代表取締役社長
井上伸一郎　株式会社角川書店　代表取締役社長
辻本憲三　株式会社カプコン　代表取締役会長
片岡正志　関西テレビ放送株式会社　代表取締役社長
依田　？　株式会社ギャガ・コミュニケーションズ　代表取締役会長
御手洗冨士夫　キヤノン株式会社　代表取締役会長
村瀬治男　キヤノンマーケティングジャパン株式会社　代表取締役社長
荒蒔康一郎　キリンホールディングス株式会社　代表取締役会長
小池武久　キングレコード株式会社　代表取締役社長
伊従　勝　株式会社コーエー　代表取締役執行役員会長CEO
田川　敏　コダック株式会社　エンタテインメント イメージング事業部　取締役事業部長
田中富美明　株式会社コナミデジタルエンタテインメント　代表取締役社長
坂根正弘　株式会社小松製作所　代表取締役会長
田附章雄　コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社　執行役
住田良能　株式会社産業経済新聞社　代表取締役社長
石川真一郎　株式会社GDH　代表取締役社長/CEO
磯崎　澄　JSAT株式会社　代表取締役
気賀純夫　ジェネオン　エンタテインメント株式会社　代表取締役社長
町田勝彦　シャープ株式会社　代表取締役会長
土井宏文　ジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社　代表取締役社長
迫本淳一　松竹株式会社　代表取締役社長
大橋光夫　昭和電工株式会社　取締役会長
森　祐治　株式会社シンク　代表取締役社長
渡　文明　新日本石油株式会社　代表取締役会長
米倉弘昌　住友化学株式会社　代表取締役社長
岡　素之　住友商事株式会社　取締役会長
草間三郎　セイコーエプソン株式会社　取締役会長
大橋洋治　全日本空輸株式会社　取締役会長
土橋昭夫　双日株式会社　代表取締役会長
中鉢良治　ソニー株式会社　代表取締役社長兼エレクトロニクスCEO
伊豆倉公一　ソニーPCL株式会社　代表取締役　社長
北川直樹　株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント　代表取締役
関根正之　株式会社第一通信社　代表取締役社長
鈴木茂晴　株式会社大和証券グループ本社　執行役社長
佐藤慶太　株式会社タカラトミー　取締役副社長
徳光彰二　中京テレビ放送株式会社　代表取締役社長
夏目和良　中部日本放送株式会社　取締役社長
西山千秋　株式会社テイチクエンタテインメント　代表取締役社長
安田善巳　テクモ株式会社　代表取締役社長
杉山知之　デジタルハリウッド株式会社　デジタルハリウッド大学学長
来間　紘　テレビ愛知株式会社　代表取締役社長
君和田正夫　株式会社テレビ朝日　代表取締役社長
上田克己　テレビ大阪株式会社　代表取締役社長
菅谷定彦　株式会社テレビ東京　代表取締役会長
俣木盾夫　株式会社電通　代表取締役会長
岡田裕介　東映株式会社　代表取締役社長
高橋　浩　東映アニメーション株式会社　代表取締役社長
浅野碩也　東海テレビ放送株式会社　代表取締役社長
市野紀生　東京ガス株式会社　取締役会長
勝俣恒久　東京電力株式会社　取締役社長
井上　弘　株式会社東京放送　代表取締役社長
西室泰三　株式会社東芝　相談役
高井英幸　東宝株式会社　取締役社長
林田　洋　株式会社東北新社　代表取締役社長
榊原定征　東レ株式会社　代表取締役社長
藤田弘道　凸版印刷株式会社　代表取締役会長
張富士夫　トヨタ自動車株式会社　取締役会長
堀　鐵藏　名古屋テレビ放送株式会社　代表取締役社長
落合正美　日活株式会社　代表取締役会長
重久吉弘　日揮株式会社　代表取締役会長CEO
大輝精一　株式会社日経BP　代表取締役社長
杉田亮毅　株式会社日本経済新聞社　代表取締役社長
西松　遥　株式会社日本航空　代表取締役社長
李　昌烈　日本サムスン株式会社　代表取締役社長
氏家斉一郎　日本テレビ放送網株式会社　代表取締役　取締役会議長
佐々木元　日本電気株式会社　代表取締役会長
佐藤国彦　日本ビクター株式会社　代表取締役社長
草刈隆郎　日本郵船株式会社　代表取締役会長
氏家純一　野村ホールディングス株式会社　取締役会長
成田純治　株式会社博報堂　代表取締役社長
佐藤　孝　株式会社博報堂DYメディアパートナーズ　代表取締役社長
徳市慎治　株式会社バップ　代表取締役最高顧問
本田昌広　株式会社パノラマ　代表取締役
髙須武男　株式会社バンダイナムコホールディングス　代表取締役社長
矢内　廣　ぴあ株式会社　代表取締役会長兼社長
篠本　学　株式会社日立製作所　代表執行役執行役副社長
林　瑞峰　株式会社ヒューマックスシネマ　代表取締役社長
岡部淳也　株式会社ビルドアップ　代表取締役
後藤由多加　株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント　代表取締役社長
秋草直之　富士通株式会社　代表取締役会長
豊田　皓　株式会社フジテレビジョン　代表取締役社長
加藤丈夫　富士電機ホールディングス株式会社　相談役
大島康広　株式会社プラザクリエイト　代表取締役社長
桐畑敏春　株式会社ポニーキャニオン　代表取締役社長
堀　一貴　株式会社ホリプロ　代表取締役副会長
北村正任　株式会社毎日新聞社　代表取締役社長
河内一友　株式会社毎日放送　代表取締役社長
中村邦夫　松下電器産業株式会社　代表取締役会長
齋藤　宏　株式会社みずほコーポレート銀行　取締役頭取
槍田松瑩　三井物産株式会社　代表取締役社長
岩沙弘道　三井不動産株式会社　代表取締役社長
野間口有　三菱電機株式会社　取締役会長
畔柳信雄　株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ　取締役社長
森　稔　森ビル株式会社　代表取締役社長
高原慶一朗　ユニ・チャーム株式会社　代表取締役　取締役会会長
石坂敬一　ユニバーサルミュージック株式会社　代表取締役会長兼CEO
内山　斉　株式会社読売新聞グループ本社　代表取締役社長
高田孝治　読売テレビ放送株式会社　代表取締役社長
座安　弘　琉球放送株式会社　代表取締役社長
吉田　敬　株式会社ワーナーミュージック・ジャパン　代表取締役社長
和崎信哉　株式会社WOWOW　代表取締役社長

オープニング＆クロージング



東京打撃団



草野仁、知花くらら



久石譲と東京フィルハーモニー交響楽団

■グランドオープニング　セレモニー

日　時：　9月19日(水)　18:30～20:30
場　所：　東京国際フォーラム　ホールC
出席者：　約750人
外国人招待者、省庁・自治体関係者、実行委員会、百人委員会、コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーイベント事務局、プレスなど及び一般招待者(「朝日新聞」、「CGワールド」、「オリコン」にて募集)
次　第：　MC　草野仁、知花くらら
和太鼓演奏(東京打撃団)
CoFesta概要映像
岸田文雄　内閣府特命担当大臣　挨拶
役所広司　メインキャラクター　登壇
トップコンテンツ紹介VTR(7分野43作品)
トップクリエーター登壇

堀 井 雄 二	ゲームデザイナー
富野由悠季	アニメーション監督
井 上 雄 彦	漫画家
石 原 恒 和	㈱ポケモン　代表取締役社長
杉 田 成 道	㈱フジテレビジョン　エグゼクティブディレクター
ＰＵＦＦＹ	歌手
山 田 洋 次	映画監督
佐藤可士和	アートディレクター

ゲスト紹介

ソ・ビョンムン	韓国文化コンテンツ振興院(KOCCA)
キム・キョンゴン	韓国放送映像産業振興院(KBI)
アヴィ・アラッド	プロデューサー(「スパイダーマン」等)
ジェレミー・トーマス	プロデューサー(「ラスト・エンペラー」等)
ジョナサン・キム	プロデューサー(「ヘブン」等)

甘利明　経済産業大臣　開会宣言
フォトセッション
開催記念ライブ
久石譲、東京フィルハーモニー交響楽団
演奏曲　1)水の旅人
2)For You
3)Links(CoFestaテーマ曲初披露)
4)NAUSICAA2006
5)人生のメリーゴーランド



登壇者全員　(ピカチュウに関し、©2007 Pokémon. ©1995-2007 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.)

オープニング＆クロージング

■グランドオープニング レセプション

日　時：　9月19日(水)　20:50～21:50
場　所：　東京會舘 ロイヤルルーム
出席者：　約500人
　　外国人招待者、省庁・自治体関係者、実行委員会、百人委員会、コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーイベント事務局など

次　第：　MC　藤村さおり　フジテレビアナウサー
　　主催者挨拶
　　大谷信義　委員長
　　来賓挨拶
　　西室泰三　百人委員会委員(㈱東芝相談役)
　　アヴィ・アラッド　プロデューサー
　　乾杯
　　依田巽　副委員長
　　～歓談～
　　中締
　　重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー



レセプション　西室泰三百人委員会委員


レセプション　会場内

■クロージングパーティ

日　時：　10月28日(日)　18:45～20:00
場　所：　東急文化村(Bunkamura)the Museum(渋谷)
出席者：　約600名
　　外国人招待者、省庁・自治体関係者、実行委員会、百人委員会、コンテンツ業界関係者、オフィシャル・パートナーイベント事務局、東京国際映画祭クロージングセレモニー参加者など
次　第：
　　MC　藤村さおり　フジテレビアナウンサー
　　主催者挨拶
　　大谷信義　委員長
　　メインキャラクター挨拶
　　役所広司
　　乾杯
　　迫本淳一　副委員長
　　～歓談～
　　来賓挨拶
　　山本かなえ　経済産業大臣政務官
　　角川歴彦　第20回東京国際映画祭チェアマン
　　～歓談～
　　中締
　　依田巽　副委員長


クロージング　役所広司メインキャラクター



クロージング　角川歴彦東京国際映画祭チェアマン


クロージング　会場内

オフィシャルイベント　TOKYO GAME SHOW 2007











名　称：　東京ゲームショウ2007
テーマ：　つながって、ひろがって、世界へ。
会　期：　ビジネスデイ　9月20日(木)、21日(金)　10:00～17:00
　　※プレス関係者およびビジネス関係者のみ入場可。
　　一般公開　　9月22日(土)、23日(日)　10:00～17:00
場　所：　幕張メッセ
主　催：　社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)
共　催：　日経BP社／経済産業省(国際ビジネス部門)
特別協賛：　株式会社NTTドコモ
入場料：　一般[中学生以上]1,200円税込(前売券1,000円税込)
　　子供[小学生以下]無料
来場者：　193,040人(2006年:192,411人)

■内容

17回目にして初めて4日間の日程で開催された「東京ゲームショウ2007」は、出展社数、出展小間数ともに過去最高の規模で開催。加えて来場者も過去最高の193,040人を迎え、大盛況のうちに終了。会場では、最新型家庭用ゲーム機向けのタイトルが数多く展示、大きな注目を集めたほか、携帯電話で楽しむゲームや携帯型ゲーム機用ソフトも昨年を上回る出展となり、多彩なゲームの楽しみをより多くの人々にアピールするゲームの祭典となった。

●展示コーナー

出展社217社(海外97社/19ヶ国・地域)、1,735小間
一般展示、キッズコーナー、ゲームスクールコーナー、物販コーナー、モバイルコンテンツコーナー、ビジネスソリューションコーナー、ビジネスミーティングコーナーで構成。

●TGSフォーラム2007

基調講演
「広がるプレイステーション・ワールド、新たな成長に向けたビジネス戦略の全貌」平井一夫　ソニー・コンピュータエンタテインメント　代表取締役社長兼グループCEO

セッション
オンラインゲームセッション、キャラクターセッション、携帯電話ゲームセッション、ファイナンス＆マーケットセッション　他

●主催者企画

テレビゲームミュージアム(日本ゲーム大賞歴代グランプリ作品試遊コーナー)
ゲーム科学館(ゲーム機とゲームソフトの仕組みや各種技術の解説コーナー)
TGS MUSIC SQUARE(ゲーム関連音楽＆アーティスト映像視聴コーナー)

●JAPAN国際コンテンツフェスティバル2007関連イベント

CoFesta Movie Square
“ゲームから生まれた映像作品たち”をテーマに、ゲーム原作の映画やアニメーション作品の紹介、主要作品の原作ゲーム試遊コーナーを設置。

コ・フェスタ フォーラム in TGS 2007
コンテンツビジネスの最新動向と将来の展望を語る国際的なカンファレンスとして、各業界のキーパーソンを招き、“インターナショナルセッション”、“メディアミックスセッション”、“エンターテインメントグローバルミーティング”の3つのプログラムを実施。

コンテンツ企業 ビジネス プレゼンテーション
各産業界の事業アライアンス担当者や大手金融機関、有力投資家の方を招いて、ゲームビジネスを担う新鋭企業5社が自社の事業プランを発表。

●日本ゲーム大賞2007発表授賞式(併催イベント)

年間作品部門：　9月20日(木)／
　　【大賞】Wii Sports(Wii)、モンスターハンターポータブル　2nd(PSP)
アマチュア部門：　9月21日(金)／【大賞】バトルクエスト(PC)
フューチャー部門：　9月23日(日)／受賞　11作品

オフィシャルイベント　CEDEC 2007

名　称：　CESAデベロッパーズカンファレンス2007（通称：　CEDEC 2007）
テーマ：　ゲーム最前線　加速する開発シーンへ
会　期：　2007年9月26日（水）、27日（木）、28日（金）
場　所：　東京大学本郷キャンパス
主　催：　社団法人コンピュータエンターテインメント協会
共　催：　経済産業省（産業間連携部門）
対　象：　コンシューマゲーム・ケータイ・ネットワーク等のゲーム開発者、エンターテインメントコンテンツ制作、ビジネス関係者、関連の技術・機器等の開発者
受講料金：
　レギュラーパス（3日間）　50,000円
　デイリーパス　20,000円
　CESA会員、学生は半額
　レギュラーパス早期割引　40,000円
来場者：　1,900人（2006年：1,720人）

■内容
●基調講演
「『あそびをつくる』・・・その本質とは」
　小口久雄　㈱セガ代表取締役副社長
「コーエーの目指すエンターテインメントサービス戦略について」
　松原健二　㈱コーエー代表取締役執行役員社長COO
「未来に向けて広がるゲームビジネスの可能性」
　浜村弘一　㈱エンターブレイン代表取締役社長
●セッション
A. 協賛セッション……4
B. スポンサーシップセッション……19
C. レギュラーセッション……49
●ワークショップ…3
●ラウンドテーブル…11
●展示コーナー
ゲーム開発ツールや関連書籍の紹介。9団体
●CEDEC／コ・フェスタ　ゲーム開発者セミナー
概　要：　欧米、アジアのゲームデベロッパーや映画、アニメ等、コンテンツ制作の第一線で活躍する方々を講師として招聘。海外の開発事情やマーケット、コンテンツ産業を取り巻く環境などについて最新動向を得るとともに、ゲームづくりでの新たなアイデアと可能性が発見できる機会となる事を狙う。
主　催：　社団法人コンピュータエンターテインメント協会、経済産業省
会　期：　9月24日（月）、25日（火）
場　所：　東京大学（本郷キャンパス）工学部2号館213大講堂
対　象：　ゲーム・エンターテインメントコンテンツ制作関係者
内　容：　セッション（海外セッション…6、産業間連携セッション…6）
来場者員：　729人（延べ人数）









オフィシャルイベント DiGRA2007







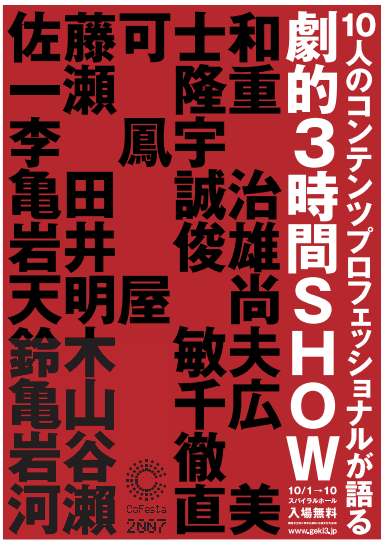


名　称：　DiGRA 2007（The Third International Conference of DiGRA）
会　期：　2007年9月24日（月）～28日（金）
場　所：　東京大学本郷キャンパス
主　催：　日本デジタルゲーム学会　（DiGRA JAPAN）
共　催：　Digital Games Research Association　（DiGRA）
協　力：　国際ゲーム開発者協会　（IGDA）
　　CESAデベロッパーズカンファレンス2007　（CEDEC2007）
後　援：　経済産業省、東京大学大学院情報学環
協　賛：　財団法人中山隼雄科学技術文化財団
　　株式会社オライリー・ジャパン
　　株式会社コーエー
　　株式会社セガ
　　株式会社バンダイナムコゲームス
対　象：　デジタルゲーム研究者、開発者
来場者：　355人（29カ国）
　　（前回　2005年カナダ　サイモン・フレーザー大学：約250人）

■内容
デジタルゲームの国際学術会議
●ウェルカム・レセプション[9月24日（月・祝）]
●基調講演、対談講演[9月26日（水）・27日（木）・28日（金）]…3
●シンポジウム…6
●論文発表…103
・デジタルゲームのおもしろさの解明
・デジタルゲームの心理的・生理的影響
・ゲーム産業のビジネスモデル
・ゲーム開発者の人材育成
・MMORPG・携帯ゲームの学術的アプローチ
・ゲームの応用利用（シリアスゲーム）とその開発法　など
●ポスター発表…16
●パネルセッション…8
●学生ラウンドテーブル…2
●ライトニングトークセッション…9
●Work in Progress…20
●Late Breaking Panel…1
●展示ブース
●バンケット[9月28日（金）]
●秋葉原エクスカーション・ツアー[9月29日（土）]

オフィシャルイベント　劇的3時間SHOW

名　称：　劇的3時間SHOW　—10人のコンテンツプロフェッショナルが語る—
会　期：　10月1日（月）～10日（水）18:30～21:30
場　所：　スパイラルホール（青山）
主　催：　CoFesta実行委員会
企　画：　重延浩　CoFestaエグゼクティブ・プロデューサー
制　作：　奥村隆市　「劇的3時間SHOW」ゼネラル・プロデューサー
運　営：　NPO法人映像産業振興機構（VIPO）
　　㈱第一通信社
運営協力：　㈱テレビマンユニオン
イベント協力キュレーター：
　　久保雅一　小学館キャラクターセンター長
　　山口裕美　アートプロデューサー・現代美術ジャーナリスト
対　象：　コンテンツプロフェッショナルを目指す人
入場料：　無料
来場者：　3,766人



■内容

● 1人、1日、3時間！

日本のコンテンツ業界で現代のトップクリエイター、トッププロデューサーとして大活躍するプロフェッショナルが一日1名ずつ登場。サブタイトルはその人そのもの、内容や手法もそれぞれに委ねられている中で、自身の成功につながった技術や経験、コンテンツ観、ものづくりに対する熱い想いなどが、3時間かけて“劇的に”語られた。

期間中は、立ち見やホワイエでの観覧者が出るほど多くの参加者が集まり、質疑応答の時間には、積極的に質問が飛び出した。



10月1日(月)　佐藤可士和　アートディレクター、CoFestaアートディレクター
10月2日(火)　河瀬直美　映画作家
10月3日(水)　一瀬隆重　映画プロデューサー
10月4日(木)　岩谷徹　ゲームクリエイター
10月5日(金)　亀山千広　㈱フジテレビジョン　執行役員常務映画事業局長
10月6日(土)　鈴木敏夫　スタジオジブリ　プロデューサー
10月7日(日)　岩井俊雄　メディアアーティスト
10月8日(月)　天明屋尚　アーティスト
10月9日(火)　李鳳宇　シネカノン代表、映画プロデューサー
10月10日(水)　亀田誠治　音楽プロデューサー



●特別プログラム「もうひとつのセッション-my finds-」を併催

「劇的3時間SHOW」キュレーターである山口裕美が、クリエイター一人ひとりから発想の原点や企画実現のエピソードなどの貴重な話を引き出していくライブトークセッションを開催。クリエイターの選出も山口裕美が行い、現在活躍する日本の映像クリエイターの中から、それぞれに違った手法で“映像”を表現し、それぞれの分野で新しい才能として注目を集めている3名が出演した。

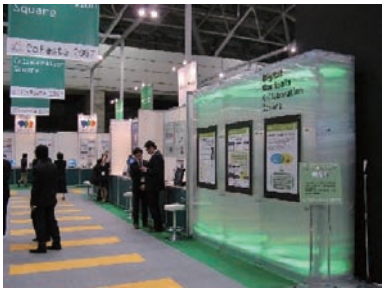


10月8日(月)　13:00～16:00
出演者：　岡崎能士　アーティスト
　　鴻池朋子　アーティスト
　　辻川幸一郎　映像アーティスト
司　会：　山口裕美　「劇的3時間SHOW」キュレーター

オフィシャルイベント　CEATEC JAPAN









名　称：　CEATEC JAPAN 2007
テーマ：　見える、感じる、デジタルコンバージェンス最前線。
会　期：　10月2日（火）～10月6日（土）　10:00～17:00
場　所：　幕張メッセ
主　催：　CEATEC JAPAN 実施協議会
社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）
後　援：　総務省／外務省／経済産業省（建制順）
千葉県／千葉市／日本放送協会／（社）日本民間放送連盟／日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所／独立行政法人日本貿易振興機構／独立行政法人国際観光振興機構／アメリカ合衆国大使館商務部／欧州連合駐日欧州委員会代表部／英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館（順不同）
共　催：　日経BP社／経済産業省（国際ビジネス部門）
対　象：　業界関係者及び一般
入場料：　事前登録：無料
当日登録：　一般1,000円、学生500円
学生20名以上の団体および小学生以下は無料
来場者：　205,859人（2006年：194,267人）

■内容
●総合展示

デジタルネットワークステージ	328社
電子部品・デバイス＆装置ステージ	567社

●特別展示・主催者事業
デジタルコンテンツパビリオン、オートモーティブパビリオン、RFIDパビリオン、先端実装パビリオン、HATS PLAZA、アクセシビリティPLAZA、体感！デジタル放送わくわく生活館、JETRO BIZMATCH@CEATEC JAPAN、自治体ゾーン、産学交流パビリオン、いちおしナビ、MONODZUKURI PLAZA、学生によるインターネット放送局「intebro」、ジュニア＆キッズ電子工作教室、情報大航海プロジェクト、ネットKANDEN2007、u-JAPANベストプラクティス2007、全国ロボット相撲大会ものづくり体験教室
●JAPAN国際コンテンツフェスティバル
JAPAN国際コンテンツフェスティバル特別企画として、デジタルコンテンツ コラボ スクエアをデジタルネットワークステージ内にブース展開。またカンファレンスではコンテンツフェスティバルセッションとして4セミナーを実施。
●カンファレンス

キーノートスピーチ	19
トレンドセッション	10
アドバンスセッション	9
特別セッション	6
コンテンツフェスティバルセッション	4
インダストリアルシステムトラック	14
ソフトウェア＆ソリューショントラック	8
通信ネットワークトラック	8
アジアビジネスサポートコンファランス	8
出展者セミナー	46
Jissoフォーラム2007	3

オフィシャルイベント　JAM2007 Japan Animation Contents Meeting

名　称：　Japan Animation Contents Meeting 2007　（通称：JAM 2007）
テーマ：　アニメアイディア・マーケット
会　期：　ビジネスデー　　10月4日（木）、5日（金）　10:00～17:00
　　一般公開日　　10月6日（土）、7日（日）　10:00～17:00
場　所：　秋葉原UDX
主　催：　中間法人日本動画協会／経済産業省
後　援：　東京都／千代田区
特別協力：　社団法人日本イベント産業振興協会
協　力：　NTT都市開発㈱／鹿島建設㈱／韓国文化コンテンツ振興院／クロスフィールドマネジメント㈱／サントリー㈱／西武鉄道㈱／ダイビル㈱／東京アニメセンター
対　象：　アニメ業界内外の人たち、及び一般
入場料：　無料
来場者：　9,697人

■内容

●総合展示

アニメ・ビジネスショーケース

アニメコンテンツを利用した「新しい発想」の企画を持つ企業・団体が36社出展。商品やビジネスモデルなどを展示。

アニメ・チャレンジオーディション

プロ・アマ、年齢・国籍を問わず、日本のアニメキャラクターやストーリーなどを使用した「新感覚」の商品やビジネスアイディアを広く募集。審査に合格した11点の出展物のみ、商品化を目指しチャレンジ出展。

●JAMシアター　10月5日（金）、6日（土）

シンポジウム

中国市場における映像コンテンツ二次利用の可能性
大藤賞受賞者基調講演＆パネルディスカッション
動画革命東京のビジネススキームのノウハウ公開

上映会

韓国アニメ上映会
HD-DVDによるアニメ映画鑑賞会「機動警察パトレイバー2　the Movie」

●JAMステージ　10月6日（土）、7日（日）

日本アニメの源流を探る～日本アニメクラシックコレクション上映会
鉄腕アトムとミュータンくんとの出会い　～アトミュータン誕生！～
EVA AT WORKその制作秘話と舞台裏
鉄腕アトム・クレヨンしんちゃん　握手会＆撮影会
やわらかアトム発表記念トークショー「BEYOND THE SKY」
システム7「Hinotori」PVアニメ上映
しんちゃん教室www.edu904.com説明会

●JAMマーケットプレイス

アニメグッズ販売

●全国マンガ・アニメーションミュージアム連絡協議会（仮称）設立準備会

全国マンガ・アニメーションミュージアム連絡協議会設立に向けた準備会議を開催。全国から23施設の実務担当者が一堂に会し、今後のミュージアムの在り方について意見交換を実施。



©JAM2007



©JAM2007


©JAM2007

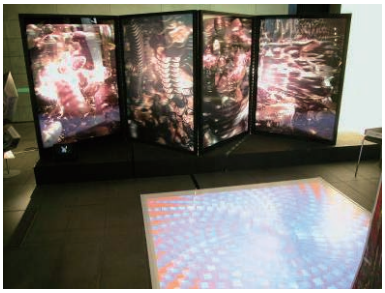


©JAM2007

オフィシャルイベント ASIAGRAPH 2007inTokyo











名　称：　ASIAGRAPH 2007 in Tokyo
サブタイトル：　多様性からの創造
会　期：　10月11日（木）～14日（日）　10:00～18:00
　　10月11日（木）は招待者・関係者のみ
場　所：　秋葉原UDX
主　催：　アジアグラフ2007実行委員会／経済産業省／財団法人デジタルコンテンツ協会
共　催：　日本バーチャルリアリティ学会
後　援：　外務省／東京都／千代田区／日中CG文化交流協会／韓国文化コンテンツ振興院／上海マルチメディア産業協会／台湾デジタルコンテンツ産業推進室／秋葉原電気街振興会／財団法人画像情報教育振興協会／社団法人コンピュータエンターテインメント協会／3Dコンソーシアム／超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／中間法人日本動画協会／立体映像産業推進協議会
対　象：　業界関係者及び一般
入場料：　無料
来場者：　13,157人（2006年：3,043人）

■内容

●記念講演パネル
アジアの映像表現の魅力を探る
モデレータ：河口洋一郎　CGアーティスト、東京大学大学院教授
パネリスト：押　井　　守　映画監督
さかもと未明　漫画家・作家
日本のコンテンツの表現力
モデレータ：中 谷 日 出　NHK解説委員
パネリスト：富野由悠季　アニメーション監督・原作者
玉 木 正 之　ジャーナリスト・スポーツライター・作家・音楽評論家

●国際シンポジウム
アジアの文化芸術の多様性とメデイア文化
新しいバーチャルリアリティ技術が拓くアジアのコンテンツ
アジアのCGコンテンツ制作事情

●トーク＆上映
CGアートギャラリー・CGアニメーションシアター　アジアの若きクリエイテイブ
メタバース：3Dヴァーチャルコミュニティ
「ALWAYS続・三丁目の夕日」VFXのひみつ
映画「西遊記」にみる宣伝手法と特徴的プロモーション、特撮・VFXの世界
韓国デジタルコンテンツ産業の未来を語る～韓国3Dアニメーション事情

●セミナー＆ワークショップ
立体コンテンツ制作の現状と課題
バーチャルアナトミア
アート展におけるCG利用の可能性
セカンドライフの制作事情
CGテクニカルセミナー　由水桂のキャラクターデザイン術

●クリエイテイブファクトリー
個性的で活力のあるコンテンツ制作関連の企業・団体が作品・技術を展示

●先端技術展
先端技術、学術での研究成果、それに関わる先端ソフト等を展示

●CGアートギャラリー・CGアニメーションシアター
アジア各国の優れたCG作品の展示、上映

●テクニカルセッション
アジアを代表するVRの研究者による研究発表

●センターステージ
「4K映像」の上映、セカンドライフのライブ映像、企業によるプレゼンなど

●併催・併設イベント
第22回DCGP、DCC2007、ボーンデジタルCGセミナー、適職フェア、学生ワークショップ、こどもCGワークショップ

オフィシャルイベント　INTERNATIONAL DRAMA FESTIVAL in TOKYO

名　称：　国際ドラマフェスティバル　in TOKYO 2007
会　期：　10月12日(金)、13日(土)
場　所：　スパイラルホール(青山)
主　催：　国際ドラマフェスティバル　in TOKYO実行委員会
(構成団体)
㈳日本民間放送連盟／日本テレビ放送網㈱／㈱東京放送／㈱フジテレビジョン／㈳テレビ朝日／㈱テレビ東京／㈱WOWOW／日本放送協会／㈳日本映画製作者連盟／松竹㈱／東宝㈱／東映㈱／角川映画㈱／㈳全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)／㈳衛星放送協会／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)／㈳日本映画テレビプロデューサー協会
共　催：　総務省／経済産業省
協　賛：　スカイパーフェクト・コミュニケーションズ
対　象：　業界関係者
入場料：　無料
来場者：　450人

■内容
●開会式典
・司会
石坂浩二、八木亜希子
・ゲスト
加藤あい、北大路欣也、玉木宏、薬師丸ひろ子、黒木メイサ、稲森いずみ、大森南朋、栗山千明
・海外ゲスト
ペク・ソミ(韓国)、クォ・シャオトン(中国)、ピヤダー・アッカラーセーニー、パティパーン・パタウィガーン(タイ)
●招待作品上映会
・海外招待作品上映会と作品関係者へのインタビュー
韓国「A Dwarf Launches a Small Ball」
中国「新結婚時代」
タイ「Heart of Chocolate」
・国内招待作品サマリー上映会と担当プロデューサーによる解説
日本テレビ「ハケンの品格」
TBS「華麗なる一族」
フジテレビ「のだめカンタービレ」
テレビ朝日「ドラマスペシャル　白虎隊」
テレビ東京「忠臣蔵～瑤泉院の陰謀」
NHK「ハゲタカ」
●シンポジウム
「日本及びアジアの作品を世界で飛躍させる為に今、何が求められるか」
パネリスト:
キム・ユンテク(Seoul Drama Awards　事務局　企画室長)
チュー・ジピン(China Tiger Movie & TV Facture Corporation　社長)
今 野　勉(テレビマンユニオン　取締役副会長)
小林信一(国際メディアコーポレーション　取締役)
大 多　亮(㈱フジテレビジョン　ドラマ制作担当局長)
司会:
音　好 宏(上智大学文学部新聞学科　教授)







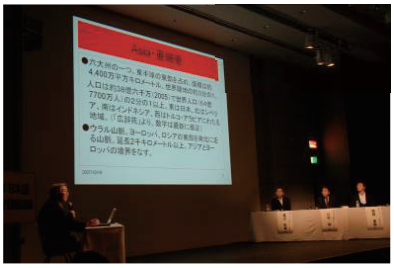


オフィシャルイベント　第4回　東京アジア・ミュージックマーケット









名　称：　2007 4th TAM～第4回東京アジア・ミュージックマーケット
会　期：　10月15日(月)～19日(金)
場　所：　恵比寿、渋谷、代官山
共　催：　経済産業省／財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)
協　力：　中国音像協会(CAVA)／韓国文化コンテンツ振興院(KOCCA)
後　援：　外務省／㈱日本レコード協会／㈱私的録音補償金管理協会／㈱日本音楽著作権協会／㈱日本芸能実演家団体協議会／㈱日本音楽事業者協会／㈱音楽出版社協会／㈱音楽制作者連盟／㈱全国コンサートツアー事業者協会
対　象：　業界関係者および一般
入場料：　無料(一部イベントは一般有料)
来場者：　3,240人(2006年：1,200人)

■内容

10月15日(月)　オープニング・セレモニー（IFPIアジア太平洋理事会合同）

10月16日(火)　●TAM Showcase Live! Jump into Asia! 1st Night
出演：河口恭吾、中ノ森BAND、HALCALI、FUNKY MONKEY BABYS
●商談会

10月17日(水)　●ビジネスセミナー1
「海外展開(特にアジア地域に向けて)の課題と戦略」
～アジア市場に於けるJ-POPを中心とした日本音楽の可能性～
・特別基調講演：ジョン・ケネディ(国際レコード産業連盟)
・パネルディスカッション「アジア音楽市場の最新動向と将来像」「アジア音楽市場で日本音楽の人気を高める為の課題と必須条件を考察」
●TAM Showcase Live! Jump into Asia! 2nd Night
出演：m-flo、DOUBLE、Miss Monday、lecca
●商談会

10月18日(木)　●ビジネスセミナー2
「中国モバイルミュージックの最新動向とマーケット考察」
・調査報告：岩部英教(株式会社ビデオリサーチ国際事業部長
・パネルディスカッション：「中国形態音楽ダウンロードビジネスの最新状況と制度面」「携帯端末機器メーカーのアジア戦略と中国通信キャリアの現状」「Webマーケット概況(中国・音楽SNS最新状況」
「アジアライブ・エンタテインメントビジネスの今」
・特別基調講演：谷村新司
・基調講演：金度潤(韓国文化コンテンツ振興院音楽産業チーム)
・パネルディスカッション「中国、韓国を中心に、東南アジア地域における日本人アーティストの活動を検証」「ライブの運営、制作、プロモーション、チケット販売などについて、日本国内と比較し、相違点を検証」
●TAM Showcase Live! Jump into Asia! Anime Songs Night
出演：石田燿子、savage genius、JAM Project（影山ヒロノブ、松本梨香、遠藤正明、きただにひろし、奥井雅美、福山芳樹)、茅原実里、B・Bガ～ルズ、桃井はるこ
●商談会

10月19日(金)　●TAM Showcase Live! from abroad
出演：黄貫中(ポール・ウォン；香港)、王宏恩(ワン・ホンエン；台湾)、マラルジンゴ(モンゴル)、HAYA(中国・内モンゴル)

オフィシャルイベント　第20回東京国際映画祭

名　称：　第20回東京国際映画祭
会　期：　10月20日(土)～28日(日)
場　所：　六本木ヒルズ(港区)、Bunkamura(渋谷)をメイン会場に、都内の各劇場及び施設・ホールを使用
主　催：　ユニジャパン(財団法人日本映像国際振興協会／第20回東京国際映画祭実行委員会)
共　催：　経済産業省(マーケット部門)／東京都(コンペティション部門)／㈳映画産業団体連合会(ニッポン・シネマ・クラシック部門)
後　援：　外務省／総務省／日本自転車振興会／独立行政法人国際交流基金／渋谷区／港区／日本貿易振興機構／㈳日本経済団体連合会／東京商工会議所／㈳日本映画製作者連盟／㈳映画産業団体連合会／㈳外国映画輸入配給協会／モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)／全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／㈶角川文化振興財団／㈶デジタルコンテンツ協会／㈶港区スポーツふれあい文化健康財団／㈳デジタルメディア協会／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)
補助・助成：　日本自転車振興会(競輪公益資金)
支　援：　文化庁国内映画祭支援
対　象：　一般
入場料：　有料
来場者：　348,521人※(2006年：300,320人)

■内容

●作品上映：　主要部門
コンペティション(エラン・コリリン監督「迷子の警察音楽隊」が最高賞"東京 サクラ グランプリ"を受賞)、特別招待作品、アジアの風、日本映画・ある視点、ワールドシネマ、映画が見た東京

●作品上映：　自主企画
animecs TIFF 2007、東京ネットムービーフェスティバル2007、声優口演ライブ with 山下洋輔、シネマ・ヴァイブレーション／映画と音楽の共振関係

●作品上映：　共催・提携企画　(主催団体)

ニッポン・シネマ・クラシック みなと上映会	(㈳映画産業団体連合会／ユニジャパン)(東京国際映画祭みなと委員会／港区／東京国際映画祭)
第20回東京国際女性映画祭	(東京国際女性映画祭実行委員会)
コリアン・シネマ・ウィーク 2007	(駐日韓国大使館 韓国文化院)
ショートショート フィルムフェスティバル＆アジア2007 受賞作品上映会＆ワークショップ	(ショートショート アジア実行委員会)
2007東京・中国映画週間	(日中友好映画祭実行委員会／中国電影海外推広公司 他)
香港映画祭	(香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部／香港政府観光局)
CJax －日加ショートアニメーション・エクスチェンジ	(カナダ国立映画制作庁／ブラボーファクト)
GTFトーキョーシネマショー2007	(㈳外国映画輸入配給協会、他)
東京国際シネシティ フェスティバル2007	(東京国際シネシティフェスティバル2007実行委員会)
第4回文化庁映画週間 －Here&There	(文化庁)

●セミナー＆シンポジウム　(主催団体)
香港・中国コンテンツ・エンターテインメント・ビジネスセミナー(香港貿易発展局)、ジャパン・ロケーション・マーケット2007(経済産業省／ユニジャパン)、国際コンテンツ人材交流・育成セミナー(JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会)、知的財産権フォーラム―青少年と知的財産権の未来―(モーション・ピクチャー・アソシエーション)、J-Pitchセミナー「日本映画産業の現在」(経済産業省／ユニジャパン)、バーチャルワールドサミット2007(バーチャルワールドサミット2007 実行委員会)、JETROセミナー「欧米各国の映画製作の方法と共同製作ポイント」(JETRO)

●マーケット
TIFFCOM2007～アジア・パシフィック・エンタテインメント・マーケット(経済産業省／日本映像振興株式会社)
TIFF in AKIHABARA 秋葉原エンタまつり2007(「秋葉原エンタまつり2007」実行委員会)

※TIFFCOM2007および秋葉原エンタまつり2007の来場者数を含む


©2007 TIFF


©2007 TIFF


©2007 TIFF


©2007 TIFF


©2007 TIFF

オフィシャルイベント　TIFFCOM 2007









名　称：　TIFFCOM 2007～アジア・パシフィック・エンタテインメント・マーケット
会　期：　10月22日(月)～24日(水)　10:00～18:00
場　所：　六本木ヒルズ森タワー　六本木アカデミーヒルズ40F＆49F、TOHOシネマズ六本木ヒルズ　スクリーン3(35㎜スクリーニングルーム)
主　催：　経済産業省／日本映像振興株式会社
共　催：　財団法人日本映像国際振興協会(第20回東京国際映画祭実行委員会)
後援団体：　㈱衛星放送協会／㈱外国映画輸入配給協会／㈱コンピュータエンターテインメント協会(CESA)／㈱全日本テレビ番組製作者連盟／(協)日本映画製作者協会／㈱日本映画製作者連盟／㈱日本映像ソフト協会／㈱日本経済団体連合会／中間法人　日本動画協会／㈱日本民間放送連盟／NPO法人映像産業振興機構(VIPO)
出展対象：　映画・テレビ番組などの実写映像及びアニメーション、出版、ビデオゲーム、キャラクター、コミックなど
対　象：　業界関係者
入場料：　1名10,000円(税込)
延べ来場者：　17,085人(2006年：14,676人)

■内容
●オープニングレセプション
●ブース出展
　出展小間数：155(国内71、海外48)
　出展団体数：172(国内76、海外58)
　※2006年　112小間　163企業
●マーケットスクリーニング
●Tokyo Project Gathering
　(企画マーケット：2007年度企画作品数:38点、来場者数:310人)
　・プレゼンテーション
　・ネットワーキング・パーティー
　・個別ミーティング
●Seminar@TIFFCOM　～How to find a Japanese actor for your film～
　モデレーター：
　　ピーター・アンシン(Asian Entertainment Finance Associates代表取締役)
　海外ゲスト：
　　アダム・ラビーン(米国：Endeavor社マーケティング・マネージャー)
　　リチャード・パガノ(米国：キャスティングディレクター)
　　ナタリー・シェロン(フランス：キャスティングエージェント)
　日本芸能プロダクション：
　　原田知明(㈱アミューズ　執行役員)
　　鈴木基之(㈱ホリプロ　取締役執行役員マネージメント第一事業部)
　　岩倉達哉(㈱SDP　映画事業部チーフプロデューサー)

オフィシャルイベント　秋葉原エンタまつり

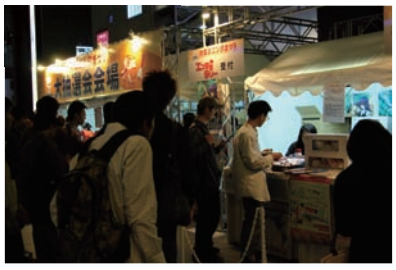
名　称：　秋葉原エンタまつり2007
会　期：　10月20日(土)～28日(日)
メイン会場：　秋葉原UDX　2F　AKIBA_SQUARE
主　催：　秋葉原エンタまつり2007実行委員会
共　催：　経済産業省（MANGAフェスティバル部門）／第20回東京国際映画祭実行委員会／日本映像振興／秋葉原イベント推進協議会
後　援：　秋葉原駅前商店街振興組合／秋葉原商店街振興組合／秋葉原中央通商店街振興組合／秋葉原電気街振興会／コンピュータエンターテインメント協会／コンピュータエンターテインメントレーティング機構／千代田区／千代田区万世橋地区町会連合会／つくばエクスプレス／東京アニメセンター／東京観光財団／東京商工会議所／東京都／日本映像ソフト協会／日本ツーリズム産業団体組合連合会／日本動画協会
特別協賛：　ソニー・コンピュータエンタテインメント
協　賛：　秋葉原先端技術実証フィールド推進協議会／アスミック・エースエンタテインメント／アニプレックス／アミューズソフトエンタテインメント／アルゴ・ピクチャーズ／エイベックス・エンタテインメント／NTTドコモ／エンターブレイン／角川映画／角川エンタテインメント／角川書店／キングレコード／講談社／ジェネオン　エンタテインメント／集英社／小学館／ショウゲート／松竹／創造都市横浜推進協議会／ソニー・ピクチャーズ　エンタテインメント／東映ビデオ／東京アニメーションカレッジ専門学校・大阪アニメーションカレッジ専門学校／東宝／トムス・エンタテインメント／ドワンゴ／バップ／ハピネット／バンプレスト／富士見書房／PROJECT-ICE／ポニーキャニオン／メディアファクトリー／メディアワークス
協　力：　秋田書店／NTT都市開発／大阪放送／クロスフィールドマネジメント／JR東日本　東京支社／少年画報社／新潮社／ダイビル／デジタルハリウッド大学／東京メトロ／白泉社／双葉社／リイド社／YNK JAPAN
（敬称略・五十音順）
対　象：　一般
入場料：　無料
来場者：　156,852人

■内容
●秋葉原エンタまつり大抽選会
●特設ステージにおける各種イベント
●コミック・文庫まつり（サイン会含む）
●プレイステーションまつり
●DVDまつり
●ホビーまつり
●animecs T!FF in AKIHABARA 2007
●MANGAフェスティバル　in　秋葉原エンタまつり　2007
テーマ：
・海外マーケット（基調講演「MANGAとニュージャポニズム」、USA・ヨーロッパ・アジアマーケット事情）
・デジタル化（出版社から見たデジタル事情、携帯キャリアの展望、デジタル化環境、デジタルコンテンツ流通　最新事情、電子書籍マーケット）
・作家の権利と法律（創作活動と著作権、レンタルビジネス・ネットビジネスと権利、MANGAを世界に　その方法と課題）









オフィシャルイベント　第4回 文化庁映画週間









名　称：　第4回文化庁映画週間 –Here＆There
会　期：　10月20日(土)～25日(木)
場　所：　六本木ヒルズ、Bunkamura(渋谷)
主　催：　文化庁
共　催：　財団法人日本映像国際振興協会(ユニジャパン)／コミュニティシネマ支援センター／全国フィルム・コミッション連絡協議会
対　象：　一般
入場料：　無料
来場者：　739人

■内容

●10月20日(土)
第5回文化庁映画賞贈呈式
文化記録映画部門、映画功労表彰部門

●10月21日(日)
第5回文化庁映画賞受賞記念上映会
・文化記録映画大賞『ひめゆり』
・文化記録映画優秀賞『有明海に生きて　100人に聞く、海と漁の歴史と証言』
・文化記録映画優秀賞『プライド in ブルー』

●10月23日(火)
第4回世界映画人会議 I
テーマ「映画人とは～国境を超える映画の力～」
司会：矢田部吉彦氏
(第20回東京国際映画祭 コンペティション プログラミング・ディレクター)

●10月24日(水)
第5回文化庁 全国フィルムコミッション・コンベンション
(ジャパン・ロケーション・マーケット2007共同企画)
テーマ「歴史文化地域におけるフィルムコミッション活動～『第三の男』から『ダ・ヴィンチ・コード』まで～」
講演者：
ロス・デイビス　(イギリス／エジンバラ・フィルム・フォーカス)
アリエ・ボーラー(オーストリア／ロケーション・オーストリア)
コーディネーター：前澤哲爾(全国フィルム・コミッション連絡協議会 専務理事)

●10月25日(木)
第4回世界映画人会議 II
テーマ「世界の若手アニメーターの現状～カナダ、ドイツ、フランス、そして日本～」
講演者：
マイケル・フクシマ(カナダ国立映画制作庁 プロデューサー)
パスカル・ルノートル
(フランス／フォリマージュの共同創立者、アニメーション監修)
ザシュカ・ウンセルド
(ドイツ／バーデン・ヴュルテンベルク州立フィルムアカデミー卒業生、独立系スタジオStudio SOI共同設立者)
古川タク(アニメーション作家、イラストレーター、タクンボックス代表)
モデレーター：伊藤裕美(オフィスH 代表)
第4回文化庁全国映画祭コンベンション
テーマ「映画館の中のこども～コミュニティシネマの未来～」
基調講演：小栗康平(映画監督)
プレゼンテーション／ディスカッション：
ルイ＝ポール・デサンジュ
(パリのこども映画館“ユルシュリーヌ”ディレクター)
中島清文(三鷹の森ジブリ美術館館長)
西嶋憲生(多摩美術大学教授／映画研究者／コミュニティシネマ支援センター運営委員)
佐伯知紀(文化庁芸術文化調査官)　他

オフィシャルイベント

Japan Location Market 2007

名　称：　ジャパン・ロケーション・マーケット2007
主　催：　経済産業省／財団法人日本映像国際振興協会（ユニジャパン）
企画制作：　株式会社コムブリッジ
協　力：　全国フィルム・コミッション連絡協議会／ロケーションジャパン
会　期：　10月22日（月）～24日（水）
場　所：　六本木ヒルズ森タワー　アカデミーヒルズ49F　オーディトリアム　他
対　象：　フィルムコミッション、ロケーション支援団体、映画製作者、自治体
参加費：　無料
来場者：　998人

■内容

●JLMセミナー

「FCスキルの基礎から問題解決まで」

出演者：　西崎智子（広島フィルム・コミッション主事）／長島一由（映画専門大学院大学客員教授）／小山真一（天草フィルム・コミッション）／正田克宏（福岡フィルム・コミッション）／金澤秀一（いわきフィルム・コミッション協議会）／藤崎慎一（㈱地域活性プランニング代表取締役）／三橋幸和（㈲ヘブンリーバレー）／田中まこ（全国フィルム・コミッション連絡協議会副会長）

「地域資源活用の観点からみた映画製作の作品事例」

『フラガール』 ロケ地：福島県いわき市

出演者：　祷映（シネカノン　プロデューサー企画製作担当）、猪狩光訓（常磐興産㈱　レジャーリゾート事業部　広報グループ　グループリーダー）

『早咲きの花』 ロケ地：愛知県豊橋市

出演者：　作間清子（㈲シネボイス　代表取締役）、佐藤元英（ヤマサちくわ㈱　代表取締役社長）

『HAZAN』 ロケ地：茨城県友部町

出演者：　橘川栄作（元映画波山製作委員会　幹事）

ナビゲーター：　宮本倫明（地域ブランディングプロデューサー）

●JLMシンポジウム

「海外製作者から見たロケ地としての日本」

出演者：　イ・ヒョンスン（「イルマーレ」監督）、イ・チョルハ（「愛なんていらない」監督、「イルマーレ」助監督）、クリーヴ・ランズバーグ（「The Ramen Girl」制作総指揮）、松岡利光（「バベル」日本側プロダクションマネージャー）

モデレーター：田中まこ（神戸フィルムオフィス代表）

「求められる地域コンテンツの今後
～地域活性化と、世界に通用する良質なコンテンツ創造のために～」

出演者：　井上俊彦（さっぽろフィルムコミッション）／若澤美義（三浦市役所営業開発課長）／板垣敏弘（伊豆の国観光協会）／祷映（シネカノン　プロデューサー）／野澤泰志（経済産業省　商務情報政策局　文化情報関連産業課　課長補佐）

コーディネーター：　藤崎慎一（㈱地域活性プランニング代表取締役）

●第5回文化庁全国フィルムコミッション・コンベンション
（文化庁映画週間共同企画）

テーマ「歴史文化地域におけるフィルムコミッション活動～『第三の男』から『ダ・ヴィンチ・コード』まで～」

講演者：　ロス・デイビス（イギリス／エジンバラ・フィルム・フォーカス）
アリエ・ボーラー（オーストリア／ロケーション・オーストリア）

コーディネーター：前澤哲爾（全国フィルム・コミッション連絡協議会　専務理事）

●ロケーションアリーナ

参加地域：　『チェスト！』（鹿児島県鹿児島市／鹿屋市）、『HAPPY LOOOSER～愛すべきダメ男たち～』（千葉県我孫子市／柏市／流山市）、『三本木農業高校、馬術部』（青森県十和田市）、『魁！！男塾』（静岡県小山町他）、『まなびピアふくしま製作映画（仮題）』（福島県）









●TIFFCOM JLM ブース



●JLM 交流会

オフィシャルイベント　ATP Awards TV Grand Prix 2007









名　称：　第24回 ATP賞テレビグランプリ2007
会　期：　10月23日(火)
場　所：　六本木ハリウッドホール
主　催：　社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)
後　援：　総務省／経済産業省／日本放送協会／社団法人日本民間放送連盟
対　象：　業界関係者
入場料：　無料
来場者：　約600人(2006年：約600人)

■内容
授賞式＆レセプション

●受賞作品一覧

グランプリ　「特捜！　ザ・リアル海猿」
(ドキュメンタリージャパン／テレビ朝日)

総務大臣賞　ハイビジョン特集「闘う三味線　人間国宝に挑む～文楽一期一会の舞台～」(NHKエンタープライズ・クレイジーダイアモンド／NHK BShi)

最優秀賞
ドラマ部門：
土曜ドラマ「魂萌え！」
(NHKエンタープライズ／NHK)
ドキュメンタリー部門：
ハイビジョン特集「闘う三味線　人間国宝に挑む～文楽　一期一会の舞台～」(NHKエンタープライズ・クレイジーダイアモンド／NHK BShi)
情報番組部門：
「特捜！　ザ・リアル海猿」
(ドキュメンタリージャパン／テレビ朝日)
バラエティ部門：
カミングアウトバラエティ「秘密のケンミンSHOW」
(ハウフルス／讀賣テレビ)

優秀賞	ドラマ部門：	3作品
	ドキュメンタリー部門：	6作品
	情報番組部門：	5作品
	バラエティ部門：	2作品
長寿番組賞		2作品
新人賞		3作品
特別賞		2作品
デジタルコンテンツ賞		該当無し

オフィシャルイベント　JAPAN PRIZE 2007 INTERNATIONAL EDUCATIONAL PROGRAM CONTEST

名　称：　第34回「日本賞」教育番組国際コンクール
会　期：　10月23日(火)～29日(月)
場　所：　放送センター101スタジオ(渋谷)
主　催：　日本放送協会
対　象：　メディアと教育に関わるすべての人
入場料：　無料
来場者：　約1,300人









■内容

●部門

番組部門：　教育に役立つテレビ番組
ウェブ部門：　テレビ番組と関連した、教育に役立つウェブサイト
企画部門：　教育に役立つテレビ番組の企画

●賞

1. グランプリ日本賞	賞牌、賞状、賞金(5,000米ドル)
2007年度受賞作品：	「特別授業　差別を知る～カナダ　ある小学校の試み～(カナダ放送協会)」
2. 番組部門(各部最優秀番組)	賞牌、賞状、賞金(各3,000米ドル) 総務大臣賞(子ども番組の部) 文部科学大臣賞(青少年番組の部) 外務大臣賞(一般教養番組の部) 東京都知事賞(教育ジャーナルの部)
3. 番組部門：特別賞	賞牌、賞状、賞金(各2,000米ドル) 国際交流基金理事長賞、 ユニセフ賞、前田賞
4. ウェブ部門：最優秀ウェブ賞	賞牌、賞状、賞金(3,000米ドル)
5. 企画部門(最優秀企画)	賞牌、賞状、賞金(8,000米ドル) 放送文化基金賞
6. 企画部門(特別賞)	賞牌、賞状、賞金(3,000米ドル) 日本ユネスコ協会連盟賞

●制作者フォーラム

子ども番組の部
　司会：ヤン・ウィレム＝ブルト(オランダ　カトリック放送青少年部長)
青少年番組の部
　司会：ウルリカ・マルタ・アルラート(スウェーデン　教育放送プロデューサー)
教育ジャーナルの部
　司会：武中千里(NHK　経済社会情報番組チーフ・プロデューサー)
一般教養番組の部
　司会：ヤン・ウィレム＝ブルト(オランダ　カトリック放送青少年部長)

●特別講演「日本アニメの世界戦略～ポケモン・アニメ10年間の世界展開」

講師：久保雅一(小学館キャラクター事業センター長)

●「日本賞」学生セミナー

「セサミストリートから学ぶフォーマティブ・リサーチの方法」
　講師：上田信行(同志社女子大学　現代社会学部現代こども学科　教授)
「世界のテレビを学び、日本のテレビを知る～今なぜ、メディア教育が必要か？」
　講師：五嶋正治(東海大学文学部　広報メディア学科　准教授／玉川学園高等部情報教育　講師)
「番組制作のHow and Why」
　講師：坂上浩子(NHKエデュケーショナル　こども幼児部　部長)
「NHK教育番組をつくる～制作者のココロ～」
　講師：桜田歩(NHK　学校教育番組　ディレクター)

●エントリー番組上映および意見交換会
●ウェブ部門・企画部門　公開プレゼンテーション
●開会式、授賞式、祝賀レセプション

オフィシャルイベント　東京コンテンツマーケット2007

ジャパン・クリエイターズ・フェスティバル
「JAPAN国際コンテンツフェスティバル」オフィシャルイベント











名　称：　東京コンテンツマーケット2007
会　期：　10月25日(木)、26日(金)
場　所：　六本木ヒルズ森タワー　六本木アカデミーヒルズ40
主　催：　独立行政法人中小企業基盤整備機構　関東支部
共　催：　経済産業省中小企業庁／関東経済産業局
連携企画：　TIFFCOM 2007(第20回東京国際映画祭併設マーケット)
協　力：　第20回東京国際映画祭実行委員会／首都圏情報ベンチャーフォーラム
後　援：　㈶デジタルコンテンツ協会／㈶CG-ARTS協会／㈳デジタルメディア協会
対　象：　コンテンツ関連事業者、コンテンツビジネスに興味のある一般来場者など
入場料：　無料
来場者：　2,055人(2006年：1,910人)

■内容
●映像コンテンツの見本市(出展者数:82社(者))
●開会式／『TCMアワード』授賞式(優秀作品を発表・表彰)
●シンポジウム(コンテンツ業界の代表者によるディスカッション)

・『TCMコーディネーター』会議

パネリスト：	稲蔭正彦	慶應義塾大学環境情報学部教授　政策メディア研究科　メディアスタジオ㈱　代表取締役
	内田康史	㈱GDH　取締役副社長兼COO
	大森洋三	㈱インデックス・ホールディングス　取締役
	河井信哉	プロデューサー
	水口哲也	キューエンタテインメント㈱　代表取締役CCO
モデレーター：	藤井雅俊	メディアラグ㈱　代表取締役

・コンテンツコラボレーションに見るweb2.0時代の著作権ビジネス

パネリスト：	清水義裕	㈱手塚プロダクション　著作権事務局局長　中間法人 日本動画協会　事業委員長
	高山　晃	㈱ファンワークス　代表取締役
	本間　毅	ソニー㈱ コーポレートディベロップメント部 ネットメディア開発室 チーフプロデューサー
モデレーター：	森　祐治	㈱シンク　代表取締役社長

・変化する広告メディアとしてのオンラインゲーム

パネリスト：	黒崎裕行	㈱電通　プロモーション営業推進局
	長沢　潔	㈱ジークレスト　代表取締役社長兼CEO
	横地　潤	㈱アドバゲーミング　代表取締役社長
モデレーター：	清田　智	㈱QPR　代表取締役　首都圏情報ベンチャーフォーラム コンテンツ分野クラスターマネージャー

・本格化する仮想社会ビジネス最新情報

パネリスト：	赤川良二	㈱ソニー・コンピュータエンタテインメント Home(Japan)Project推進室　シニアプロデューサー
	水口哲也	キューエンタテインメント㈱　代表取締役CCO
	森山雅勝	㈱ココア　代表取締役
モデレーター：	西田隆一	CNET Networks Japan　編集統括

オフィシャルイベント　国際コンテンツ人材交流・育成セミナー

名　称：　国際コンテンツ人材交流・育成セミナー　Ⅰ・Ⅱ

■セミナーⅠ

会　期：　9月20日(木)～21日(金)
場　所：　明治大学駿河台キャンパス　アカデミーコモン2階
主　催：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
後　援：　読売新聞社
協　力：　明治大学
対　象：　業界関係者および一般
入場料：　無料
来場者：　250人

●内容
・9月20日(木)
「日本コンテンツの魅力　～映画プロデューサーの視点から～」
アヴィ・アラッド(映画プロデューサー)
「欧米から見たアジアとの協同製作の可能性」
ジェレミー・トーマス(映画プロデューサー)、井関惺(映画プロデューサー)
・9月21日(金)
「アジアにおける共同製作　～なぜ今国際共同製作が注目されるのか～」
井関惺(映画プロデューサー)
「日韓共同製作の経験と今後の可能性　～日本映画の韓国での配給～」
ジョナサン・キム(映画プロデューサー)

■セミナーⅡ

会　期：　10月26日(金)～27日(土)
場　所：　六本木アカデミーヒルズ49F　スカイスタジオ
主　催：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行委員会
後　援：　読売新聞社
協　力：　TBS　i-camp
対　象：　業界関係者および一般
入場料：　無料
来場者：　151人

●内容
・10月26日(金)
講演＆パネルディスカッション「次代の“ジョージ・ルーカス”を育てる。」
「創造性を引き出す学校デザイン」
ジェームズ・ハインドマン　AFI特別顧問、Film Arts, Inc.社長
「創造社会を先導するメディア・イノベータの養成」
稲蔭正彦　慶應義塾大学環境情報学部教授　兼　政策メディア研究科委員
メディアデザイン研究科(2008年4月開設予定)委員長
「産学連携で成功するエンターテイメント最前線」
エリザベス・デイリー　USC映像芸術学部長
パネルディスカッション「世界で活躍する“映像人”を育てる秘訣」
モデレーター：森祐治　㈱シンク　代表取締役社長
パネリスト：　上記3講演者
・10月27日(土)
ワークショップ「とにかく…映画が撮りたい！」
アーヴィン・チェン　映画監督

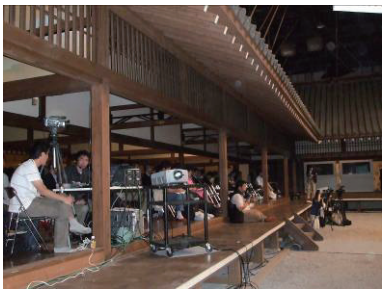








パートナーイベント　京都国際映画カンファレンス







クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西（通称：CrIS関西）
関西地域で開催される総合コンテンツ・イベント。以下6つのイベントで構成される。

名　称：　京都国際映画カンファレンス
テーマ：　京都の映画製作力を国内外に広くアピール
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
入場料：　無料
来場者：　769人

■内容
●国際映画カンファレンス
　会期：9月29日（土）14:00～17:00
　場所：東映京都撮影所
　対象：一般

●京都インダストリアルツアー
　会期：9月30日（日）終日
　場所：東映京都撮影所、西陣織会館等
　対象：業界関係者

●国際クロスメディアシンポジウム
　会期：9月30日（日）14:00～17:00
　場所：東映太秦映画村内「中村座」
　対象：一般

パートナーイベント　京都マンガシンポジウム





名　称：　京都マンガシンポジウム
テーマ：　マンガが広げるコンテンツ産業の可能性
会　期：　9月30日（日）
場　所：　京都国際マンガミュージアム
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
対　象：　一般
入場料：　無料
来場者：　約200人

■内容
●基調講演：「マンガからみたコンテンツ産業の可能性」
　　川勝平太　静岡文化芸術大学長
●パネルディスカッション「マンガからみたコンテンツ産業の未来」
　コーディネータ：山田五郎　編集者・評論家
　パネリスト：　里中満智子 マンガ家
　　新藤雅章　㈱小学館　法務・ライツ局シニアマネージャー
　　竹宮恵子　漫画家・京都精華大学マンガ学部教授
　　（五十音順）
●連動企画：マンガのパネル展示

パートナーイベント

名　称：　アニメーション神戸実践型ワークショップ
テーマ：　アニメーション制作の人材育成のために
会　期：　9月29日(土)～30日(日)［1泊2日］
場　所：　ジーベックホール
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
対　象：　一般
参加費：　25,000円(教材費、宿泊費、初日の夕食費を含む)
参加者：　51人

■内容
デジタル映像・アニメーションの制作に携わる人材の育成を図るため、業界の第一線で活躍中の声優を講師に招いて、プロの技を直伝する実技中心の実践型ワークショップを実施。

講師：神谷明　声優





パートナーイベント

名　称：　アジアコンテンツマーケット(ACM)　in　関西
テーマ：　アジアとのビジネスの融合をめざして
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
対　象：　業界関係者
入場料：　無料
来場者：　約4,100人

■内容
●展示商談会
関西及びアジアのコンテンツ制作・流通企業や産業支援機関を対象に、「映像系コンテンツ」や、「ゲーム系コンテンツ」を展示し、海外を含めたバイヤーとのビジネスマッチングを実施した。
会期：10月1日(月)～2日(火) 10:00～17:00
場所：マイドームおおさか1F・3F

●アジア新人プロデューサービジネスコンペティション
会期：10月1日(月)
場所：マイドームおおさか2F

●ACMセミナー
会期：10月1日(月)～2日(火)
場所：マイドームおおさか2F







パートナーイベント





名　称：　アジアスクリーニングフォーラム
テーマ：　次世代を担う新人クリエイターを探せ！
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
対　象：　一般
入場料：　無料
来場者：　306人

■内容
●学生フォーラム
　会期：9月30日(日) 13:00～19:00
　場所：マイドームおおさか

●特別セミナー
　会期：9月30日(日) 13:00～17:00
　場所：マイドームおおさか

●オールナイトスクリーニング(アジアショート映画上映会)
　会期：9月30日(日) 21:00～翌5:00
　場所：船場アートカフェ(大阪市立大学)

パートナーイベント





名　称：　田辺・弁慶映画祭
テーマ：　映画を通じた地域振興への取り組み
会　期：　10月4日(木)～6日(土)
場　所：　紀南文化会館大ホール
主　催：　クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西実行委員会
　　田辺・弁慶映画祭実行委員会
対　象：　一般
入場料：　3dayフリーパス　2,000円
　　1dayフリーパス　1,000円
来場者：　約3,000人

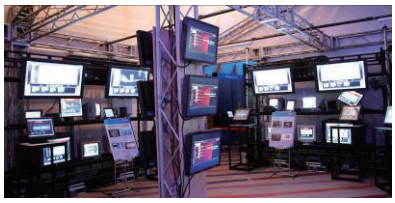
■内容
●招待作品上映(1作品)
●特別試写(1作品)
●若手監督コンペティション(7作品)
●わかやまフィルム・コミッション　トークイベント
●表彰式

パートナーイベント REMIX07

Innovate your web knowledge

名　称：　REMIX07 TOKYO
会　期：　9月19日(水) 10:00～20:00
場　所：　東京国際フォーラム
主　催：　マイクロソフト株式会社
対　象：　一般
入場料：　カンファレンス　5,000円
　　展示　　無料
来場者：　約1,800人(2006年：1,156人)

■内容
●カンファレンス
　キーノート(1セッション)
　ジェネラルセッション(1セッション)
　テーマ別セッション(24セッション)
●展示
　Fun Innovationステージ
　The Next Web Technology Showtime
　次世代Webを「みる」「さわる」「つくる」コーナー
　バーチャルREMIX
　The Next Award
●REMIX Night(パーティ)







パートナーイベント 山形国際ドキュメンタリー映画祭2007 YAMAGATA International Documentary Film Festival 2007

名　称：　山形国際ドキュメンタリー映画祭2007
会　期：　10月4日(木)～11日(木)
場　所：　山形市中央公民館(アズ七日町)、ミューズ、フォーラム、山形市民会館、
　　東北芸術工科大学
主　催：　特定非営利活動法人　山形国際ドキュメンタリー映画祭
共　催：　山形市
支　援：　文化庁／独立行政法人　国際交流基金
対　象：　一般
入場料：　1回券　　1,200円（前売り：1,000円）
　　3枚つづり　　3,000円（前売り：2,500円）
　　10枚つづり　　8,500円（前売り：6,000円）
　　共通鑑賞券　12,000円(前売り：10,000円)
来場者：　23,387人(2005年：19,963人)

■内容
●インターナショナル・コンペティション
●アジア千波万波
●交差する過去と現在―ドイツの場合
●ドラマティック・サイエンス！～やまがた科学劇場～
●やまがたと映画
●8mm映画の存続と未来
●ニュー・ドックス・ジャパン
●ANDプレゼンツ～音とドキュメンタリー







CoFesta 2007

パートナーイベント　全映協フォーラム2007 in 名古屋

National Board of Regional Visual Industry Associations







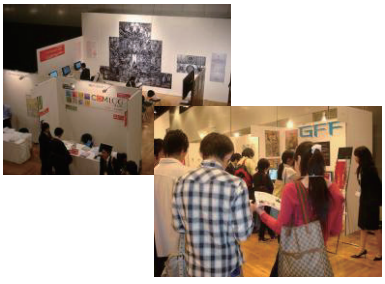
名　称：　全映協フォーラム2007 in 名古屋
会　期：　10月12日(金) 13:30～19:30
場　所：　ミッドランドスクエア
主　催：　全国地域映像団体協議会(全映協)
主　管：　中部映像関連事業者協会(中映協)
後　援：　総務省／経済産業省／文化庁／愛知県／名古屋市／中小企業基盤整備機構 中部支部／㈶デジタルコンテンツ協会／地域文化デジタル化協議会／全国フィルムコミッション連絡協議会／㈶名古屋観光コンベンションビューロー／㈶中部産業活性化センター／㈱日本民間放送連盟／日本放送協会／中部日本放送／東海テレビ放送／メーテレ／中京テレビ放送／テレビ愛知／中日新聞社／映像新聞社
対　象：　一般
入場料：　無料
来場者：　約450人(2006年：約500人)

■内容
●基調講演　「古い映像」を脱し「新しい映像」の発信力へ
　山根一眞　ノンフィクション作家
●シンポジウム　グローバル時代、コンテンツのエンジンは「感動」
　前 田 泰 宏　経済産業省 商務情報政策局文化情報関連産業課長
　飯村由香理　総務省 情報通信政策局情報通信作品振興課課長補佐
　奥 田 瑛 二　映画監督・俳優
　松 本 国 昭　名古屋テレビ映像
　亀　関　開　中映協理事
●全映協グランプリ2007表彰式
●展示コーナー
●情報交換交流会

パートナーイベント　福岡コンテンツマーケット2007







名　称：　福岡コンテンツマーケット2007
会　期：　10月23日(火) 10:00～19:30
場　所：　アクロス福岡
主　催：　福岡コンテンツ産業拠点推進会議／福岡県
後　援：　九州経済産業局／㈱九州経済連合会／福岡県商工会議所連合会
協　力：　D2K実行委員会／AAO(アジアアニメーション産業組織体)
対　象：　一般及び業界関係者
入場料：　無料
来場者：　約800人(2006年：約680人)

■内容
●展示・商談会
●プレゼンテーション
●アジアデジタルアート大賞・特別展
●講演：「コンテンツビジネス最前線」
　講師：高山晃　㈱ファンワークス代表取締役
　コーディネータ：梅本克　アジアアニメーション産業組織体
●D2K ITビジネスセミナー
　パネリスト：堀主知ロバート　㈱サイバードホールディングス代表取締役社長兼グループCEO
　コーディネータ：覚田義明　D2K代表、㈱ペンシル　代表取締役
●ビジネス交流会

パートナーイベント　YOKOHAMA STUDENT FILM FESTIVAL　第6回　横濱学生映画祭

名　称：　第6回　横濱学生映画祭
会　期：　10月26日(金)～28日(日)
場　所：　横浜情報文化センター情文ホール　他
主　催：　第6回横濱学生映画祭実行委員会／特定非営利活動法人　横浜アートプロジェクト
共　催：　横浜市開港150周年･創造都市事業本部／ZAIM
後　援：　外務省／経済産業省／中華人民共和国大使館／駐横浜大韓民国総領事館／㈳日本映画テレビ技術協会／社会福祉法人　横浜市社会福祉協議会障害者支援センター
協　賛：　身体教育研究所
協　力：　神奈川県日本中国友好協会／横浜華僑総会／金沢文庫芸術祭／伊勢崎町1･2丁目商店街振興組合／㈱中目黒製作所／Panasonic／㈱タグチ／ZAIM Cafe(公式カフェ)
支　援：　文化庁／独立行政法人　国際交流基金
対　象：　一般
入場料：　当日　1,000円
来場者：　969人(2006年：約1,000人)

■内容
●日本学生映画･新作1
●日本学生映画･新作2
●日本学生映画･名作選
●北京電影学院･新作
●北京電影学院･名作選
●中央戯劇学院･新作
●中央戯劇学院･名作選
●韓国フィルムアカデミー･新作
●韓国フィルムアカデミー･名作選
●日中韓アニメーション







広　報　　広報年間スケジュール、第1回記者発表

■広報年間スケジュール

●国内　□海外　◆制作物等

3月	□第11回香港フィルマート ●第1回記者発表（東京国際アニメフェア）	8月	●経済産業省1階ロビーにてPR展示
4月		9月	●メインキャラクター任命式 ◆交通広告展開 ◆讀売新聞全面広告掲載 ●グランドオープニング セレモニー&レセプション
5月	□第60回カンヌ国際映画祭にてレセプション開催 □ミュージックマターズ2007（香港）		
6月	●第2回記者発表（国立新美術館） ◆オフィシャルウェブサイトオープン □第10回上海国際映画祭	10月	□第12回釜山国際映画祭 ◆2007年度公式記録映像制作 ●TIFFCOM 2007
7月	◆ポスター、チラシ、公式パンフレット制作 ●メインキャラクター決定発表 □バンコク国際映画祭2007 □ソウルキャラクターフェア2007		



■経済産業省1階ロビーにて PR 展示

日　時：　8月16日（木）～30日（木）
場　所：　経済産業省1階ロビー
展示内容：　コ･フェスタ及び各イベントポスター、PR映像、キャラクターバルーン





■第1回記者発表

日　時：　3月22日（木）　13:00～13:30
場　所：　東京ビッグサイト　東1ホール「東京国際アニメフェア2007」ステージⅡ
発表内容：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル開催発表
登壇者：　音　楽／佐 藤　修　㈳日本レコード協会会長
：　映　画／高井英幸　㈶日本映像国際振興協会理事長
：　放　送／溝口明秀　日本放送協会総合企画室局長
（橋本元一　日本放送協会会長代理）
塚崎修治　㈱テレビ朝日事業局局長
（広瀬道貞　㈳日本民間放送連盟会長代理）
：　アニメ／松谷孝征　中間法人　日本動画協会理事長
：　ゲーム／和田洋一　㈳コンピュータエンターテインメント協会会長
：　経済産業省／肥塚雅博　商務情報政策局長
：　CoFesta実行委員会／大谷信義　委員長
重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー
※役職はその時点のものです
司　会：　小倉弘子　TBSアナウンサー
出席者数：　メディア25人、関係各所56人　計81人
※来所取材2人、電話取材7人

〔記事掲載媒体〕
「朝日新聞」「読売新聞」「日本経済新聞」「毎日新聞」「日経産業新聞」「文化通信」「ユニ通信」　ほか各インターネットメディア　等

広　報　　第2回記者発表、メインキャラクター任命式

■第2回記者発表

日　時：　6月12日(火) 14:00～15:00
場　所：　国立新美術館　3F　講堂
発表内容：　CoFestaシンボルマーク発表、
　　公式テーマ曲の制作概要と各イベントの開催概要
登壇者：　佐藤可士和　アートディレクター
　　：　CoFesta実行委員会正副委員長　4人
　　：　オフィシャルイベント代表者　12人
司　会：　藤村さおり　フジテレビアナウンサー
出席者数：　メディア64人、関係各所76人
次　第：　・オープニング映像
・主催者挨拶　大谷信義　委員長
・主催者挨拶　依田巽　副委員長
・CoFesta概要説明　重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー
・シンボルマーク発表　佐藤可士和　アートディレクター
・テーマ曲制作発表　重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー
・質疑応答　　回答者　佐藤可士和　アートディレクター
　　重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー
・各イベント紹介VTR
・各イベント代表者挨拶
・質疑応答
・フォトセッション
・閉会挨拶　迫本淳一　副委員長
・個別取材対応

〔記事掲載媒体〕
「TOKYO MXニュース」「朝日新聞」「読売新聞」「日経MJ」「フジサンケイビジネスアイ」「日刊工業新聞」ほか各インターネットメディア　等





■メインキャラクター任命式

日　時：　9月4日(火)　11:45～12:05
場　所：　アーバンネット大手町21F　LEVEL XX I（レベル21）　スタールーム
発表内容：　JAPAN国際コンテンツフェスティバル　メインキャラクター任命式
登壇者：　役所広司　俳優
　　：　甘利明　経済産業大臣
　　：　CoFesta実行委員会／大谷信義　委員長
　　重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー
司　会：　藤村さおり　フジテレビアナウンサー
出席者数：　メディア45人
次　第：　・開会
・挨拶　大谷信義　委員長
・挨拶　甘利明　経済産業大臣
・登壇　役所広司　メインキャラクター
・経済産業大臣からメインキャラクターへ任命証の授与
・挨拶　役所広司　メインキャラクター
・フォトセッション
・質疑応答
・閉会

〔記事掲載媒体〕
「スーパーニュース」「めざましテレビ」「読売新聞」「フジサンケイビジネスアイ」「日刊工業新聞」「日刊スポーツ」「サンケイスポーツ」「デイリースポーツ」「スポーツ報知」ほか各インターネットメディア　等





広　報　　TIFFCOM 2007 出展、海外広報



■TIFFCOM 2007 における CoFesta ブース出展

開催日：　10月22日(月)～24日(水)　10:00～18:00
場　所：　六本木ヒルズ　森タワー(49F)
実施内容：

①ブース訪問者に対して、CoFesta2007のパンフレットやチラシ、オフィシャルイベントおよびパートナーイベントのチラシやリリースなどを配布し説明。来訪者は41名(国内20名、海外21名；韓国3、台湾3、マレーシア3、イタリア3、など)

②全出展者およびブース訪問者を対象としたアンケート調査の実施。総回収票は116票(国内66票、海外44票；中国本土6、台湾6、韓国4、マレーシア4、フランス4、など)

■海外広報









●PR活動

・3月20日(火)～22日(木)：　第11回　香港フィルマート
　ジャパンプレミアにて副委員長がCoFesta概要説明、
　展示会場にてCoFesta資料配布(JETRO・ユニジャパン協力)、
　各出展者ブースにCoFesta資料配布
・5月16日(水)～27日(日)：　第60回　カンヌ国際映画祭
　レセプション開催、
　展示会場にてCoFesta資料配布(JETRO・ユニジャパン協力)、
　各出展者ブースにCoFesta資料配布
・5月29日(火)～31日(木)：　ミュージックマターズ2007(香港)
・6月16日(土)～24日(日)：　第10回　上海国際映画祭
　展示会場にてCoFesta資料配布(TIFFCOM協力)
・7月23日(月)：　バンコク国際映画祭　2007
　実行本部長が講演の中でCoFesta概要説明
・7月25日(水)～29日(日)：　ソウルキャラクターフェア2007
　展示会場にてCoFesta資料配布(東京国際アニメフェア実行委員会事務局協力)
・10月4日(木)～12日(金)：　第12回　釜山国際映画祭
　展示会場にてCoFesta資料配布、ポスター掲示
・10月22日(月)～24日(水)：　TIFFCOM 2007
　ブース出展、CoFesta資料、関連イベント資料配布、アンケート実施

●海外掲載媒体

・雑誌
「Billboard」(英語)
「Variety」(英語)
「The Japan Journal」(英語・中国語・スペイン語)
「数字技术与应用-漫点(「デジタル技術と応用」)」(北京Animanka文化発展有限公司)

・ウェブサイト
「Web Japan」(外務省協力)
「The Japan Journal」
「Variety」
「KOCCA」のCTニュース

■第11回 香港フィルマート ジャパンプレミア

日　時： 3月21日(水) 12:00～14:00
場　所： 香港会議展覧中心 シアター2
主　催： 第20回東京国際映画祭、TIFFCOM 2007
タイトル： JAPAN PREMIERE(ジャパンプレミア)
次　第： ・挨拶 角川歴彦 第20回東京国際映画祭チェアマン
・挨拶＆CoFesta概要紹介 依田巽 副委員長
・挨拶 レイモンド・イップ 香港貿易発展局AEディレクター
・舞台挨拶 萩生田宏治 監督、成海璃子 主演女優
・「神童」上映
出席者数： 約100人



■第60回 カンヌ国際映画祭 レセプション

日　時： 5月17日(木) 12:00～14:00
場　所： フランス・カンヌ マジェスティックホテル ディアーヌの間
タイトル： Japan International Contents Festival Reception in Cannes
(JAPAN国際コンテンツフェスティバル カンヌレセプション)
登壇者： 甘利明　経済産業大臣
河瀬直美 映画監督
依田巽　副委員長
山本俊一 JETRO理事 他
次　第： ・CoFesta紹介DVD上映
・挨拶 甘利明 経済産業大臣
・挨拶＆CoFesta概要紹介 依田巽 副委員長
・挨拶 河瀬直美 監督
・乾杯発声 山本俊一 JETRO理事
・歓談
出席者数： 149人(日本59人、日本以外90人)
備　考: マルガレート・メネゴーズ ユニフランス会長、ジェローム・パイヤール カンヌ映画祭事務局次長(映画見本市担当)など有力映画関係者が来場。





〔掲載媒体〕
「サンケイスポーツ」「スポーツ報知」「日刊レコード特信」「文化通信」「情報プレス」「WOWOWカンヌ国際映画祭ブログ」「アニメ！アニメ！」「Musicman-NET」

広　報　　広報制作物









■広報制作物

佐藤可士和氏のアートディレクションの下、パンフレット、ポスター、チラシなどの紙媒体や、ウェブサイトを作成した。また、記録映像DVDやテーマ曲CDを作成し、広報活動に使用した。

■紙媒体・ウェブサイト

●ポスター
数　量：　3,000部制作
仕　様：　B全サイズ、フルカラー
配布先：　実行委員会、関連イベント事務局、
関連省庁、自治体、団体、在外公館
コンテンツ産業教育機関、映画館・レコード店・アニメショップ

●チラシ
数　量：　200,000部制作
仕　様：　A4サイズ、両面フルカラー
配布先：　実行委員会、関連イベント事務局、
関連省庁、自治体、団体、在外公館
コンテンツ産業教育機関、映画館・レコード店・アニメショップ

●公式パンフレット
数　量：　50,000部制作
仕　様：　A4サイズ、21頁フルカラー、日本語、英語
配布先：　実実行委員会、関連イベント事務局、関連省庁、自治体、団体、在外公館、コンテンツ産業教育機関、映画館・レコード店・アニメショップ

●ウェブサイト
次頁参照

●ムービングロゴ
仕　様：　フルカラー、ロゴ17秒、ループ2分41秒
解　説：　シンボルマークを発展させたフルカラーデジタル動画。マルチカラーのチップ（四角片）が数を増し、幾重もの円を描きながら「C」の文字を形成する。

■映像・音楽

●公式記録映像
言　語：　日本語、英語
数　量：　DVD300枚
仕　様：　フルカラー、12分36秒
使　途：　国内外への情報発信のためのメディア対応。イベント等でのPR訴求
配布先：　実行委員会、関連イベント事務局

●テーマ曲「Links」CD
音源（CD-ROM）を作成。オフィシャルイベントに配布し会場での使用を依頼した。

広　報　　ウェブサイト、新聞広告

■ウェブサイト

U R L：　http://www.cofesta.jp/
言　語：　日本語、英語、韓国語
スケジュール：　6月12日（火）　サイト仮オープン
　　8月15日（水）　サイトグランドオープン
サイトマップ（日本語頁）：以下

- WHAT'S CoFesta
  - コ・フェスタについて
  - イベント概要
    - イベント一覧
    - スケジュール
    - メインキャラクター
    - テーマ曲
    - アートディレクション
    - エグゼクティブプロデューサー
  - オフィシャルイベント
    - 東京ゲームショウ 2007
    - DiGRA 2007
    - CEDEC 2007
    - 劇的3時間SHOW
    - CEATEC JAPAN 2007
    - JAM 2007
    - ASIAGRAPH 2007
    - 国際ドラマフェスティバル 2007
    - 2007 4th TAM
    - 第20回東京国際映画祭
    - 秋葉原エンタまつり 2007
    - TIFFCOM 2007
    - 第4回文化庁映画週間
    - ジャパンロケーションマーケット
    - ATP賞テレビグランプリ 2007
    - 第34回「日本賞」
    - 東京コンテンツマーケット 2007
    - 人材交流・育成セミナー
  - パートナーイベント
  - オープニングイベント
- INTRODUCTION
  - 実行委員長
  - 実行委員名簿
  - 百人委員会
- TOPICS
  - ブログ
- FAQ
- プレスリリース
- 宿泊ガイド
- 関連リンク
- お問い合わせ
- サイトマップ
- プライバシーポリシー







■新聞広告

讀売新聞
掲載日：　9月16日（日）
仕　様：　全30段フルカラー
内　容：　重延浩エグゼクティブ・プロデューサーと佐藤可士和アートディレクターの対談・役所広司氏、久石譲氏プロフィール紹介・オフィシャルイベント・パートナーイベント紹介



併　載：　THE DAILY YOMIURI（英語）
掲載日：　9月19日（水）
仕　様：　全30段モノクロ

増し刷り：　5万部発行　日本語フルカラー・英語モノクロ　両面　タブロイド版

広　報　　交通広告、メディア露出状況









■交通広告

■概要
期　間：　9月11日（火）～9月17日（月）
概　要：　交通広告
取引先：　JR東日本、東京メトロ
方　法：　走行車両での中吊り広告、駅構内でのCoFestaポスター掲示

●中吊り
期　間：　9月14日（金）～9月16日（日）
掲出物：　チラシ表裏両面をB3一枚に再デザインしたもの
数　量：　8,000枚（メンテナンス分含む）
路　線：　JR東日本 山手線群（山手線、常磐線、横須賀・総武快速線、つくばエクスプレス）2,700枚
JR東日本 中央線群（中央線快速、中央総武線各駅停車、京葉線、青梅線、五日市線、武蔵野線）　2,450枚
東京メトロ 東西線群（東西線、有楽町線、南北線）1,320枚
東京メトロ 銀座線群A2（銀座線、日比谷線、千代田線、半蔵門線）1,270枚

●駅貼り
期　間：　9月11日（火）～9月17日（月）
掲出物：　ポスター
数　量：　200枚（メンテナンス分含む）
場　所：　JR東日本97駅の駅構内

■メディア露出状況

期　間：　2006年7月～2007月12月（12月31日現在）
件　数：　以下表

イベント名	テレビ・ラジオ	新聞(業界紙含む)	雑誌	WEB	計
3月22日(木) 第1回記者発表	0	8	0	11	19
6月12日(火) 第2回記者発表	2	17	0	34	53
9月4日(火) メインキャラクター任命式	2	12	0	24	38
9月19日(水) グランドオープニングセレモニー	2	15	6	32	55
その他	4	53	35	29	121
計	10	105	41	130	286

主な媒体：
テレビ：　「おはよう日本」（NHK）、「スーパーニュース」（CX）、「めざましテレビ」（CX）他
新　聞：　「日本経済新聞」「朝日新聞」「読売新聞」「毎日新聞」「産経新聞」「フジサンケイビジネスアイ」「スポーツ報知」「サンケイスポーツ」「デイリースポーツ」他
雑　誌：　「ORIGINAL CONFIDENCE」「ぴあ」「TOKYO一週間」「TOKYOウォーカー」「週刊ファミ通」「週刊アスキー」他
ＷＥＢ：　「Yahoo!」「goo」「livedoor」「Infoseek」「Itmedia」「AVwatch」「アニメ！アニメ！」他

広　報　　掲載媒体一覧

■掲載媒体一覧

【テレビ】

TOKYO　MXニュース（MX）	2007.06.12
TOKYO　MXニュース（MX）	2007.06.12
ナッ得ニッポン（BS朝日）	2007.08.15
スーパーニュース（CX）	2007.09.04
めざましテレビ（CX）	2007.09.05
アートのちから（NHK教育）	2007.09.15
おはよう日本（NHK）	2007.09.20
めざましテレビ（CX）	2007.09.20
Just Japan（TVKほか）	2007.09.22

【ラジオ】

スタイルカフェ（TFM）	2007.09.15

【新聞】

読売新聞	2006.12.04
読売新聞	2007.03.08
日本経済新聞	2007.03.22
日経産業新聞	2007.03.23
朝日新聞	2007.03.23
読売新聞	2007.03.23
毎日新聞	2007.03.23
文化通信	2007.03.23
連合通信レコード速報	2007.03.23
文化通信	2007.03.27
ユニ通信	2007.04.12
スポーツ報知	2007.05.18
サンケイスポーツ	2007.05.18
文化通信	2007.05.22
情報プレス	2007.05.22
レコード特信	2007.05.23
読売新聞	2007.05.24
映像新聞	2007.06.04
朝日新聞	2007.06.13
朝日新聞（札幌）	2007.06.13
読売新聞	2007.06.13
読売新聞（高岡）	2007.06.13
文化通信（映画）	2007.06.13
読売新聞（大阪）	2007.06.14
日刊工業新聞（大阪）	2007.06.14
日経MJ	2007.06.15
読売新聞	2007.06.15
読売新聞（大阪）	2007.06.15
フジサンケイビジネスアイ	2007.06.15
日刊工業新聞	2007.06.15
日経MJ	2007.06.20
フジサンケイビジネスアイ	2007.06.20
連合通信レコード速報	2007.06.15
フジサンケイビジネスアイ（大阪）	2007.06.26
日本経済新聞	2007.06.27
サンケイスポーツ	2007.07.06
文化通信（映画）	2007.07.09
文化通信（音楽）	2007.07.09
レコード特信	2007.07.09
連合通信レコード速報	2007.07.09
読売新聞	2007.07.11
情報プレス	2007.07.12
朝日新聞（夕刊）	2007.08.28
フジサンケイビジネスアイ	2007.08.30
テレビマンユニオンニュース	2007.08.31
読売新聞	2007.09.05
読売新聞（大阪）	2007.09.05
日刊工業新聞	2007.09.05
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.05
石巻日日新聞	2007.09.05
岡山日日新聞	2007.09.05
サンケイスポーツ	2007.09.05
日刊スポーツ	2007.09.05
デイリースポーツ	2007.09.05
スポーツ報知	2007.09.05
東京スポーツ	2007.09.05
九州スポーツ	2007.09.05
道新スポーツ	2007.09.05
日刊レコード特信	2007.09.05
連合通信レコード速報	2007.09.05
読売新聞	2007.09.05
東京新聞	2007.09.05
読売新聞（夕刊）	2007.09.07
電波新聞	2007.09.11
情報プレス	2007.09.14
読売新聞	2007.09.16
THE DAIRY YOMIURI	2007.09.19
日経産業新聞	2007.09.20
朝日新聞	2007.09.20
朝日新聞（大阪）	2007.09.20
読売新聞	2007.09.20
毎日新聞	2007.09.20
産経新聞	2007.09.20
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.20
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.21
SANKEI EXPRESS	2007.09.20
SANKEI EXPRESS	2007.09.21
スポーツ報知	2007.09.20
SANKEI EXPRESS	2007.09.21
日刊レコード特信	2007.09.21
文化通信	2007.09.21
日本経済新聞	2007.09.23
ミュージック・リポート	2007.09.24
情報プレス	2007.09.25
日本経済新聞	2007.09.26
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.26
スポーツ報知	2007.10.01
デイリースポーツ	2007.10.01
サンケイスポーツ	2007.10.01
東京中日スポーツ	2007.10.01
電通報	2007.10.01
映像新聞	2007.10.01
読売新聞（夕刊）	2007.10.05
読売新聞	2007.10.12
情報プレス	2007.10.23
神奈川新聞	2007.10.24
朝日新聞	2007.10.31
読売新聞（夕刊）	2007.10.31
情報プレス	2007.11.01
音楽産業	2007.11.15
読売新聞（夕刊）	2007.11.17
映像新聞	2007.11.19
毎日新聞（夕刊）	2007.12.04
日本経済新聞	2007.12.21

【雑誌】

ORIGINAL CONFIDENCE	2007.04.02
文化通信ジャーナル	2007.05.01
UFUFU（JAME）会報	5月号
月刊展示会情報	2007.06.01
ORIGINAL CONFIDENCE	2007.06.25
ファミ通X-BOX	2007.06.30
ファミ通PLAYSTATION＋	2007.06.30
文化通信ジャーナル	2007.07.01
編集会議	2007.07.01
THE RECORD	2007.07.10
週刊ファミ通	2007.07.06
週刊アスキー	2007.08.01
月刊展示会情報	8月号
Financial JAPAN	2007.08.20
ORIGINAL CONFIDENCE	2007.08.27
The Japan Journal（中文版）	9月号
月刊NEW MEDIA	2007.09.01
コンプティーク	2007.09.10
東京WALKER	2007.09.25
TOKYO1週間	2007.09.25
Weeklyぴあ	2007.09.20
Weeklyぴあ	2007.09.27
CGWORLD	2007.09.29
ORIGINAL CONFIDENCE	2007.10.01
NEW MEDIA	2007.10.01
The Japan Journal（スペイン版）	10月号
社内報とうえい	
レコード楽器新報	2007.10.01
週刊アスキー	2007.10.09
TOKYO1週間	2007.10.09
秋ぴあ	2007.10.10
週刊ファミ通	2007.10.12
METROPOLIS	2007.10.12
Financial JAPAN	2007.10.20
DVDで一た	2007.10.20

広　報　　掲載媒体一覧

月刊アスキー	2007.10.24
In Red	2007.11.07
週刊ファミ通	2007.11.09
ORIGINAL CONFIDENCE	2007.11.26
週刊ファミ通	2007.12.07
FACTA	2007.12.20
【WEB】	
Garbagenews.com	2006.07.12
アニメ！アニメ！	2006.08.22
ファミ通.com	2006.08.29
asahi.com	2007.01.21
INTERNET Watch	2007.01.22
アニメ！アニメ！	2007.03.01
アニメ！アニメ！	2007.03.08
Biz-Plus	2007.03.22
YOMIURI ONLINE	2007.03.22
アニメ！アニメ！	2007.03.22
アニメ！アニメ！	2007.03.22
Yahoo!ニュース	2007.03.22
ファミ通.com	2007.03.23
AV Watch	2007.03.23
asahi.com	2007.03.24
人民網日本語版	2007.03.24
アニメ！アニメ！	2007.03.26
CNET	2007.03.26
スポーツ報知	2007.05.18
SANSPO.COM	2007.05.18
goo映画	2007.05.18
WOWOWカンヌ国際映画祭ブログ	2007.05.18
アニメ！アニメ！	2007.05.21
musicman-net	2007.05.21
文化通信.com	2007.05.22
アニメ！アニメ！	2007.05.29
デジタルARENA	2007.05.31
asahi.com	2007.06.12
YOMIURI ONLINE	2007.06.12
まんたんウェブ	2007.06.12
RBB NAVi	2007.06.12
AV Watch	2007.06.12
GAME Watch	2007.06.12
Itmedia +D Games	2007.06.12
INSIDE	2007.06.12
DENGEKI Online COM	2007.06.12
ファミ通.COM	2007.06.12
アニメ！アニメ！	2007.06.12
アニメ！アニメ！	2007.06.12
response	2007.06.12
六本木経済新聞	2007.06.12
Yahoo!ニュース（まんたんウェブ）	2007.06.12
Yahoo!映画（RBB TODAY）	2007.06.12
Yahoo!ニュース（RBB TODAY）	2007.06.12
Yahoo!家電ナビ	2007.06.12
livedoorゲーム（電撃オンライン）	2007.06.12
gooニュース（asahi.com）	2007.06.12
フレッシュアイニュース（asahi.com）	2007.06.12
Infoseek楽天ニュース（読売新聞）	2007.06.12
cybozu.net（response）	2007.06.12
文化通信.com	2007.06.13
gooニュース（自動車＆バイク）	2007.06.13
carview.co.jp	2007.06.13
Variety Asia Online	2007.06.13
DIGITAL ARENA デジタルエンタ	2007.06.13
Yahoo!ゲーム（ITmediaNEWS）	2007.06.13
Yahoo!ニュース自動車（response）	2007.06.13
livedoor news(CNET japan)	2007.06.13
livedoor news(response)	2007.06.13
CarSensor Lab(response)	2007.06.13
CarSensor net(response)	2007.06.13
YOMIURI ONLINE	2007.06.14
Yahoo!ニュース経済（フジサンケイビジネスアイ）	2007.06.15
SANSPO.COM	2007.07.06
musicman-net	2007.07.06
Yahoo!ニュース（+D Games）	2007.07.06
gooニュース（サンケイスポーツ）	2007.07.06
IT-PLUS	2007.08.17
アニメ！アニメ！	2007.08.26
ズームイン！SUPER エンタニュース	2007.09.04
YOMIURI ONLINE	2007.09.04
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.05
スポーツ報知	2007.09.04
nikkansports.com	2007.09.04
ORICON career	2007.09.04
RBB Navi	2007.09.04
ITmedia News	2007.09.04
ITmedia +D Games	2007.09.04
musicman-net	2007.09.04
Yahoo!ニュース（RBB TODAY）	2007.09.04
Yahoo!ニュース（オリコン）	2007.09.04
Yahoo!ニュース（スポーツ報知）	2007.09.04
Yahoo!映画ニュース	2007.09.04
gooニュース（YOMIURI ONLINE）	2007.09.04
Infoseek楽天ニュース（スポーツ報知）	2007.09.04
livedoorニュース	2007.09.04
livedoorニュース	2007.09.04
ORICON career	2007.09.04
RANKING NEWS	2007.09.04
Yahoo!ニュース（フジサンケイビジネスアイ）	2007.09.05
Yahoo!ニュース（フジテレビ系）	2007.09.05
Yahoo!動画	2007.09.05
SANSPO.COM	2007.09.05
西日本新聞九州ねっと	2007.09.12
webザ・テレビジョン	2007.09.19
Yahoo!ニュース（毎日新聞）	2007.09.19
ITmedia +D Games	2007.09.19
GAME Watch	2007.09.19
AV Watch	2007.09.19
Gpara.com	2007.09.19
livedoorニュース	2007.09.19
DENGEKI Online COM	2007.09.19
TV LIFE	2007.09.19
ズームイン！SUPER	2007.09.19
NHKニュース	2007.09.20
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.20
YOMIURI ONLINE	2007.09.20
SankeiWEB	2007.09.20
まんたんウェブ	2007.09.20
Yahoo!ニュース（まんたんウェブ）	2007.09.20
iza	2007.09.20
RBB Navi	2007.09.20
Yahoo!ニュース（RBB TODAY）	2007.09.20
Yahoo!ニュース（オリコン）	2007.09.20
Yahoo!映画	2007.09.20
Yahoo!映画	2007.09.20
gooニュース（Sankeiweb）	2007.09.20
gooニュース（自動車＆バイク）	2007.09.20
livedoorニュース	2007.09.20
Response	2007.09.20
ファミ通.com	2007.09.20
musicman-net	2007.09.20
carview	2007.09.20
カーセンサーラボ	2007.09.20
フジサンケイビジネスアイ	2007.09.21
ascii.jp	2007.09.21
NIKKEI NET	2007.09.25
TBSメディア総合研究所	2007.11.01
CNET	2007.11.05
FACTA onlline	2007.12.20
Variety Japan	2007.12.21

一体感の創出　　CoFesta連動企画

CoFestaに参加するイベントとしての統一感を創出するために、各イベントのオープニングイベントなどにおけるCoFesta実行委員会正副委員長の挨拶、イベント会場におけるCoFestaロゴの掲出などが行われた。また、いくつかのオフィシャルイベントにおいては、CoFestaの趣旨に即したセミナーやシンポジウム、ブース出展などが行われた。

■オフィシャル・パートナーイベントでの CoFesta 連動企画

●東京ゲームショウ2007

「CoFesta Movie Square」

概　要：“ゲームから生まれた映像作品たち”をテーマに、ゲーム原作の映画やアニメーション作品の紹介、主要作品の原作ゲーム試遊コーナーを設置。

会　期：東京ゲームショウの会期に同じ

「コ・フェスタフォーラム in TGS 2007」

概　要：コンテンツビジネスの最新動向と将来の展望を語る国際的なカンファレンスとして、各業界のキーパーソンを招き、“インターナショナルセッション”、“メディアミックスセッション”、“エンターテインメントグローバルミーティング”の3つのプログラムを実施。

会　期：9月21日(金)

場　所：ホテルニューオータニ幕張 鶴 東の間

「コンテンツ企業ビジネスプレゼンテーション」

概　要：各産業界の事業アライアンス担当者や大手金融機関、有力投資家の方を招いて、ゲームビジネスを担う新鋭企業5社が自社の事業プランを発表。

会　期：9月21日(金)

場　所：幕張メッセ 国際会議場 302号室

●CEDEC 2007

「CEDEC／コ・フェスタ ゲーム開発者セミナー」

概　要：欧米、アジアのゲームデベロッパーや映画、アニメ等、コンテンツ制作の第一線で活躍する方々を講師として招聘。海外の開発事情やマーケット、コンテンツ産業を取り巻く環境などについて最新動向を得るとともに、ゲームづくりでの新たなアイデアと可能性が発見できる機会となる事を狙う。

主　催：社団法人コンピュータエンターテインメント協会、経済産業省

会　期：9月24日(月)、25日(火)

場　所：東京大学(本郷キャンパス)工学部2号館213大講堂

対　象：ゲーム・エンターテインメントコンテンツ制作関係者

内　容：セッション(海外セッション 6、産業間連携セッション 6)

来場者員：729人(延べ人数)

●CEATEC JAPAN 2007

「デジタルコンテンツ コラボ スクエア」

概　要：デジタルコンテンツパビリオンと併設・連携し、コンテンツクリエイターとハード、ソフト等事業者とのコラボレーションに焦点を当てた特別企画出展。最新のコンテンツ表現を始め、制作スキームの変革や流通・ビジネスモデルの創出、人材の育成や分野を超えた交流など、新たなコンテンツ創出の取り組みを国内外へ発信。

会期・場所：CEATEC JAPAN 2007 の会期・会場内

「コンテンツフェスティバルセッション」

概　要：日本のデジタルコンテンツ関連産業の育成・発展と、特に海外におけるこれからの事業展開のあり方や国際進出の可能性などをテーマとしたセミナーやパネルディスカッションを実施。

会　期：10月4日(木)

場　所：幕張メッセ・イベントホール特設会場



東京ゲームショウ 2007



東京ゲームショウ 2007



東京ゲームショウ 2007



CEDEC 2007



CEATEC JAPAN 2007

一体感の創出　　ムービングロゴ

■ムービングロゴのプロジェクション

CoFesta2007に参加するイベントであることの一体感を視覚的に創出することを目的に、各イベント会場の受付の壁や天井など人目につく場所において、佐藤可士和氏デザインのシンボルマークを用いた、谷田一郎氏制作のムービングロゴをプロジェクターを用いて投影した。








一体感の創出　CoFesta Pass

■CoFesta Pass

●目的
CoFesta関係者が各オフィシャルイベントを視察する際の便宜を図るために作成した。オフィシャルイベントの中には有料のものもあるが、CoFesta Passの提示により、これらのイベントの殆どに無料で参加することが出来る。

●利用対象者
CoFestaの実行委員会、百人委員会、オフィシャルイベント事務局、実行本部、経産省、その他関係者。及びそれらを通しての海外来訪者。

●配布先
各オフィシャルイベント事務局預け分205枚、百人委員会114枚、実行委員会25枚、合計344枚を配布した。配布の際には、各イベントでの利用方法を記したマニュアル（日本語版・英語版）を添付した。

●利用実態
利用数は全体で百数十件程度で、特に第20回東京国際映画祭およびTIFFCOM 2007（両イベントはTIFFCOM事務局を窓口にCoFesta Pass利用申請者を登録）では合計で73件と利用数が目立って多かった。



CoFesta Pass（2007年版）

一体感の創出　　公式行事等への出席

■オフィシャル・パートナーイベントの公式行事等への CoFesta 正副委員長の出席

●東京ゲームショウ2007 オープニングセレモニー
9月20日(木)9:30、幕張メッセ
重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー、迫本淳一　副委員長、挨拶及びテープカットを行う
他の主な出席者：　荻原健司　経済産業大臣政務官、和田洋一　㈳コンピュータエンターテインメント協会会長、大輝精一　日経BP社社長

●国際人材交流育成セミナー
9月20日(木)15:00、明治大学駿河台校舎
依田巽　副委員長、挨拶を行う
他の主な出席者：　アヴィ･アラッド　プロデューサー

●DiGRA 2007 オープニングセレモニー
9月24日(月・祝)14:00、東京大学本郷キャンパス安田講堂
大谷信義　委員長、挨拶を行う
他の主な出席者：　ターニャ・クルズィウィンスカ　DiGRA会長、馬場章　DiGRA2007組織委員長、小倉義弘　中山隼雄科学技術文化財団事務局長

●クリエイティブ・インダストリー・ショーケース in 関西（CrIS関西） オープニング・セレモニー
9月29日(土)18:00、東映太秦映画村
迫本淳一　副委員長、依田巽　副委員長、挨拶を行う
他の主な出席者：　下妻博　関西経済連合会会長(CrIS関西実行委員長)、山田啓二　京都府知事、久貝卓　近畿経済産業局長、マン・シュサム　シンガポールメディア振興公社プログラム・ディレクター、キム・スンス　韓国ドラマ制作社協会事務局長

●Japan Animation Contents Meeting 2007(JAM2007) オープニングセレモニー
10月4日(木)9:45、秋葉原UDXビル
大谷信義　委員長、依田巽　副委員長、挨拶及びテープカットを行う
他の主な出席者：　中野正志　経済産業副大臣、松谷孝征　中間法人 日本動画協会理事長

●ASIAGRAPH 2007 レセプション
10月11日(木)17:30、秋葉原UDXビル
大谷信義　委員長出席、挨拶及び鏡開きを行う
他の主な出席者：　山本かなえ　経済産業大臣政務官、高島章　㈶デジタルコンテンツ協会会長

●国際ドラマフェスティバル
10月12日(金)18:30、スパイラルホール
大谷信義　委員長、CoFestasの贈呈を行う
他の主な出席者：　佐藤勉　総務副大臣、新藤義孝　経済産業副大臣、広瀬道貞　日本民間放送連盟会長、橋本元一　NHK会長

●第４回東京アジア・ミュージックマーケット(2007 4th TAM)
オープニングセレモニー
10月15日(月)19:00、ウェスティンホテル東京
依田巽　副委員長、挨拶を行う
他の主な出席者：　山本かなえ　経済産業大臣政務官、ジョン・ケネディ国際レコード産業連盟会長兼CEO、石坂敬一　㈳日本レコード協会会長、榎本和友　音楽産業･文化振興財団理事長

●第5回文化庁映画賞贈呈式
10月20日(土)19:00、グランドハイアット東京
重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー、挨拶を行う
他の主な出席者：　青木保　文化庁長官、角川歴彦　第20回東京国際映画祭チェアマン

●ATP賞受賞式
10月23日(火)16:00、六本木ハリウッドホール
大谷信義　委員長、挨拶を行う。依田巽　副委員長、重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー出席
他の主な出席者：　河内正孝　総務省官房審議官、広瀬道貞　日本民間放送連盟会長、橋本元一　NHK会長

●東京コンテンツマーケット オープニングセレモニー
10月25日(木)13:00、六本木ヒルズ森タワー
迫本淳一　副委員長、挨拶を行う
他の主な出席者：　横田真　関東経済産業局地域経済部長、富永豊郷　(独)中小企業基盤整備機構関東支部長

●秋葉原エンタまつり、MANGAフェスティバル懇親会
10月25日(木)18:00、秋葉原UDXビル
重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー、挨拶を行う
他の主な出席者：　前田泰宏　経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長、佐藤辰男　秋葉原エンタまつり2007実行委員長

●第34回「日本賞」教育番組国際コンクール
10月29日(月)16:30、NHK放送センター
依田巽　副委員長、重延浩　エグゼクティブ・プロデューサー、司会者より紹介を受ける
他の主な出席者：　皇太子殿下、橋本元一　NHK会長

CoFesta アンケート調査

●目的

CoFestaにおけるオフィシャルイベント・パートナーイベントの参加者を対象に、CoFestaに対する認知度、メディアミックスに対する考え方、実際のイベント参加行動などを把握するために実施した。

●母集団の数および属性

アンケートの種類	調査対象者の区分		サンプル数（人）延べ総計 7,256 人	イベント実施エリア	対象者属性	対象者国籍
オフィシャルイベント	東京ゲームショウ2007（TGS）	①来場者調査●	1,094	東京圏	一般	国内
		②ビジネスデイ来場者調査■	720	〃	業界関係者	〃
		③出展社調査■	61	〃	〃	〃
		④「コ・フェスタ フォーラム in TGS2007」アンケート■	149	〃	〃	〃
		⑤「コンテンツ企業 ビジネスプレゼンテーション」アンケート■	26	〃	〃	〃
	CEDEC 2007 Web 登録時アンケート■		223	〃	〃	〃
	劇的3時間 SHOW アンケート■		985	〃	〃	〃
	Japan Animation Contents Meeting 2007 アンケート（一般デイ）●		2,379	〃	一般	〃
	Japan Animation Contents Meeting 2007 アンケート（ビジネスデイ）■		195	〃	業界関係者	〃
	ASIAGRAPH 2007 アンケート■		145	〃	〃	〃
	2007 4th TAM	①商談会説明者用アンケート■	18	〃	〃	〃
		②セミナー出席者用アンケート■	21	〃	〃	〃
		③ライブ関係者用アンケート■	3	〃	〃	〃
		④海外バイヤー用アンケート▼	30	〃	〃	海外
	TIFFCOM2007 CoFesta ブースアンケート（英語版）▼		50	〃	〃	〃
	TIFFCOM2007 CoFesta ブースアンケート（日本語版）■		66	〃	〃	国内
	MANGA フェスティバル in 秋葉原エンタまつり 2007 アンケート■		335	〃	〃	〃
	ジャパン・ロケーション・マーケット 2007 アンケート■		83	〃	〃	〃
	第 34 回「日本賞」教育番組国際コンクールアンケート■		7	〃	〃	〃
	東京コンテンツマーケット（TCM） 2007 アンケート■		171	〃	〃	〃
	国際コンテンツ人材交流・育成セミナー アンケート■		186	〃	〃	〃
パートナーイベント	第6回横濱学生映画祭 アンケート●		20	〃	一般	〃
	アニメーション神戸 アンケート★		223	地方	業界関係者	〃
	アジアコンテンツマーケット（ACM） in 関西 アンケート★		21	〃	〃	〃
	京都マンガシンポジウム アンケート★		45	〃	〃	〃

※本調査においては、CoFesta2007実行本部が作成した四つの質問項目を各イベントの既存のアンケート調査票に可能な範囲で盛り込んで貰う形で実施した。各イベントの調査対象者は重複する場合もあり、サンプル数は延べ数である。

※DiGRA 2007、CEATEC JAPAN、国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2007、第20回東京国際映画祭、文化庁映画週間 – Here & There、ATP賞テレビグランプリ 2007、REMIX07 TOKYO、全映協フォーラム、FCM、山形国際ドキュメンタリー映画祭では、CoFestaに関連する問を用いていない、もしくはアンケート調査そのものを実施していない。

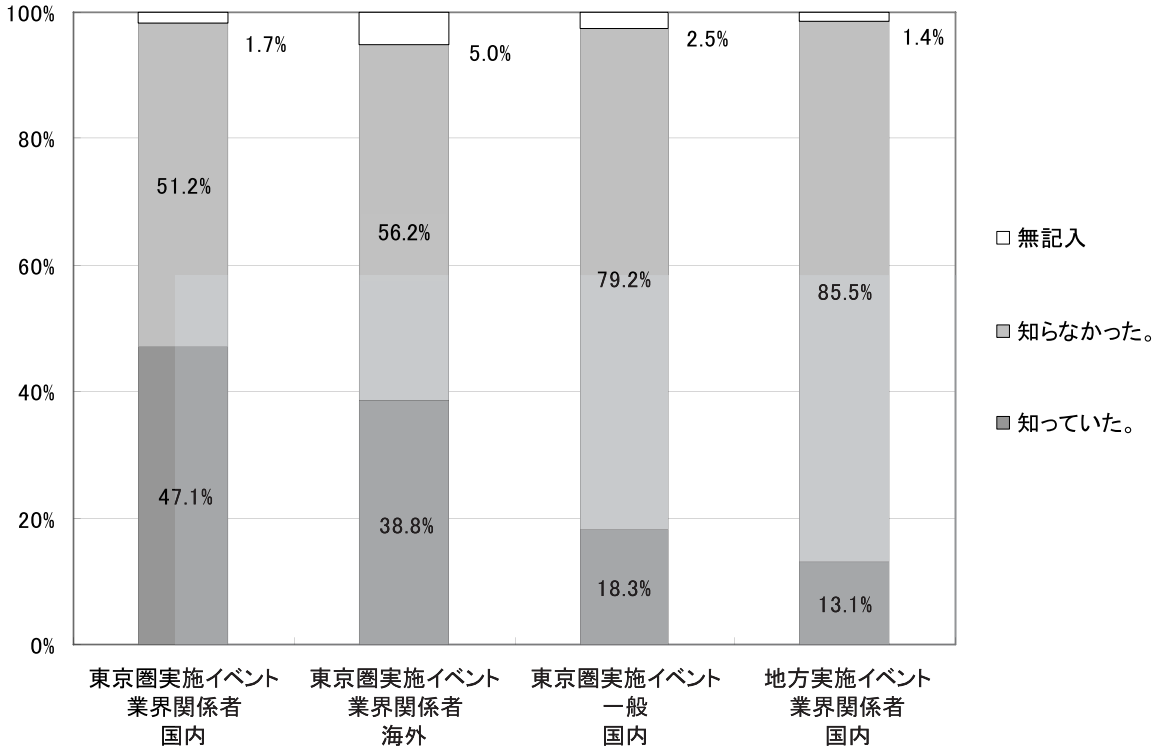
※調査対象者の属性に配慮し、本報告では母集団を■「東京圏実施イベント・業界関係者・国内（延べ3,394人）」、▼「東京圏実施イベント・業界関係者・海外（延べ80人）」、●「東京圏実施イベント・一般・国内（延べ3,493人）」、★「地方実施イベント・業界関係者・国内（延べ289人）」の4類型に分類し、集計を行った。（■▼●★マークは上の表に対応）

※TIFFCOM2007では独自に出展者アンケートを実施しているが、これは母集団がTIFFCOM2007CoFestaブースアンケートに含まれるため、今回の集計には含まれていない。また、田辺・弁慶映画祭でもアンケート調査を実施しており、母集団の属性は「地方イベント・一般来場者・国内」となるが、サンプル数が少ないため、今回の集計では取り上げていない。

※会期後にオンラインで実施されたTGS2007の「②ビジネスデイ来場者調査」「③出展社調査」「④「コ・フェスタ フォーラム in TGS2007」アンケート」、および会期前にオンラインで実施された「CEDEC 2007 Web登録時アンケート」以外は、全て会期中に会場にて配布・回収された調査である。

●調査結果

問1. あなたはコ・フェスタについてご存じですか。ご存じの場合、どのように知りましたか。
（1）以下のA、Bのうち該当するものを一つ選び、記号を○で囲んで下さい。



（2）「B. 知っていた。」と答えた方は、以下から、情報源をいくつでも選び、番号を○で囲んで下さい。

属性 / 順位	東京圏実施イベント 業界関係者 国内		東京圏実施イベント 業界関係者 海外		東京圏実施イベント 一般 国内		地方実施イベント 業界関係者 国内	
1	インターネット	48.9%	インターネット	37.1%	インターネット	20.8%	インターネット	55.3%
2	知人・友人	18.4%	仕事の取引先から	37.1%	雑誌	7.7%	新聞	21.1%
3	仕事の取引先から	14.1%	知人・友人	22.9%	知人・友人	6.1%	雑誌	18.4%
4	店頭ポスター・チラシ	10.7%	新聞	11.4%	新聞	5.2%	仕事の取引先から	13.2%
5	雑誌	7.4%	雑誌	5.7%	テレビ番組	3.5%	店頭ポスター・チラシ	7.9%
6	新聞	7.3%	店頭ポスター・チラシ	5.7%	交通広告	3.5%	知人・友人	7.9%
7	交通広告	3.7%	テレビ番組	2.9%	店頭ポスター・チラシ	3.4%	交通広告	5.3%
8	テレビ番組	2.5%	交通広告	2.9%	仕事の取引先から	2.9%	テレビ番組	2.6%
9	その他	13.2%	その他	17.1%	その他	2.3%	その他	5.3%

問2. あなたは現在携わっている分野のほかに、今後どの分野に業務展開することにご関心がありますか。
以下の中から関心の高いものを三つまで選び、番号を〇で囲んで下さい。(単位:件)

(単位:件、網掛けは当該イベントを除く上位3位を示す。)

No.	項 目	TGS	CEDEC	TAM 国内	TAM 海外	TIFFCOM 国内	TIFFCOM 海外	MANGA フェスティバル	日本賞	TCM	育成 セミナー	ACM
1	ゲーム	84	111	2	8	14	10	89	3	45	26	1
2	アニメ	53	84	7	14	22	23	153	3	55	56	3
3	マンガ	24	52	2	2	5	7	141	0	22	25	1
4	キャラクター	31	67	6	5	19	12	105	0	68	41	3
5	音楽	26	32	0	0	18	12	58	0	32	41	2
6	テレビ番組	29	36	6	12	19	27	53	3	32	60	1
7	ラジオ番組	4	12	1	4	6	3	19	0	2	10	4
8	映画	43	52	6	12	32	28	80	2	49	99	1
9	おもちゃ	14	41	4	3	2	8	45	2	44	6	0
10	基礎技術系	17	83	0	1	2	3	27	0	17	22	5
11	各種情報機器	21	60	2	1	2	6	27	2	7	11	4
12	その他	9	20	11	13	8	2	11	0	20	13	3

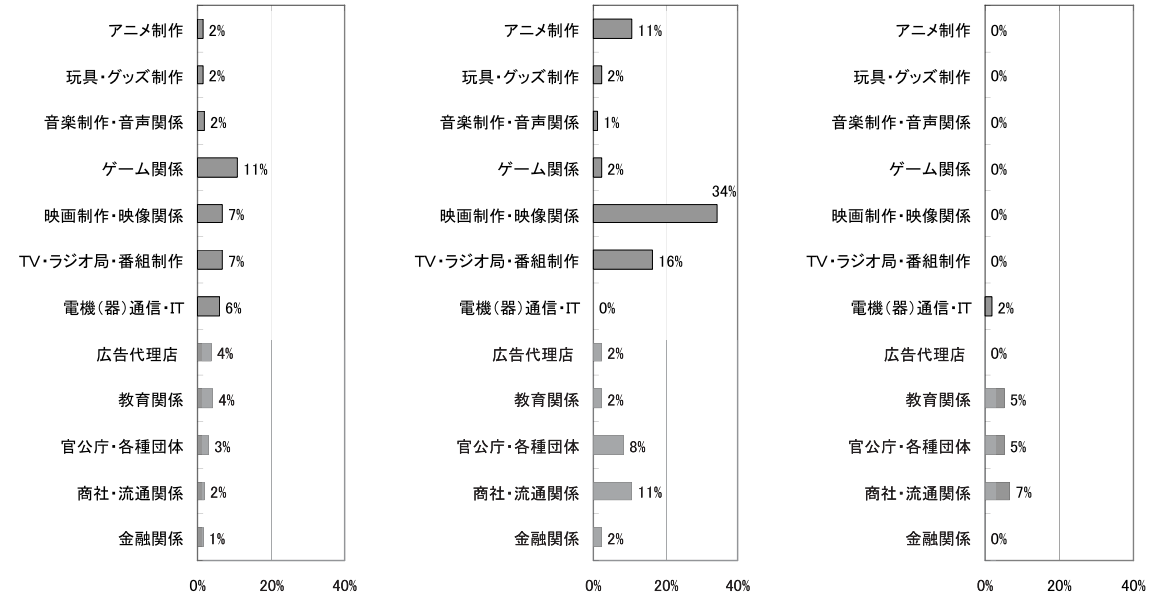
問3. あなたの会社で、昨年および今年に国内外で参加したイベントを教えて下さい。(単位:件)

(単位:件、網掛けは当該イベントを除く上位3位を示す。)

項 目	ASIAGRAPH		TAM 国内		TAM 海外	TIFFCOM 国内		TIFFCOM 海外		MANGA フェスティバル	JLM		日本賞	TCM		ACM
	'06	'07	'06	'07	'07	'06	'07	'06	'07	'06-'07	'06	'07	'06-'07	'06	'07	'06-'07
TIFFCOM	5	11	1	3	0	21	66	8	50	47	10	16	1	5	9	0
Entertainment Expo Hong Kong	0	1	0	1	0	2	2	6	13	2	1	2	0	0	0	0
東京コンテンツマーケット	3	14	1	5	0	3	4	1	3	33	4	11	0	40	82	2
東京国際アニメフェア	6	7	2	5	0	21	27	2	6	110	1	4	0	16	19	1
アヌシー国際アニメーションフェスティバル	0	0	0	0	0	1	4	1	4	4	0	0	0	0	2	0
CORTOONS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上海マルチメディア産業総合展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0
ライセンシング・インターナショナル/アジア	1	1	0	3	0	5	6	3	2	18	1	1	0	4	6	1
SICAF/SCF	0	0	1	1	0	3	4	1	3	8	1	1	0	0	0	0
アングレーム国際漫画祭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
Anime Expo 2006	0	0	2	3	0	1	2	0	0	5	0	0	0	1	0	0
東京おもちゃショー	2	3	0	0	0	4	5	1	3	42	1	2	0	6	8	1
東京国際ブックフェア	3	2	2	2	0	5	7	0	2	83	2	2	0	2	6	0
MIDEM	0	1	6	12	14	0	1	2	2	0	1	1	0	2	0	0
Popkomm	0	0	5	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
South by Southwest	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Miami Winter Music Conference	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CMJ Music Marathon	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Music Matters	0	0	0	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
Tokyo Asia Music Market	0	5	7	22	12	0	2	0	1	8	1	3	0	2	1	0
東京ゲームショウ	12	29	4	5	0	5	7	4	6	87	4	5	0	14	31	2
E3 (米国)	1	2	0	0	0	2	1	1	0	5	1	2	0	3	1	0
カンヌ映画祭	0	1	1	2	0	12	17	17	21	1	2	1	0	0	0	0
ベネチア映画祭	0	0	1	1	0	7	7	3	5	1	1	2	0	0	0	0
ベルリン映画祭	0	0	1	1	0	11	11	12	16	3	1	1	0	0	0	0
バンコク映画祭	0	0	0	0	0	1	1	7	7	0	0	0	0	1	1	0
トロント映画祭	0	0	0	0	0	7	10	7	9	0	0	0	0	0	1	0
釜山映画祭	0	4	0	2	0	14	19	9	14	6	5	4	0	0	1	0
サンダンス映画祭	0	0	0	0	0	4	7	3	3	0	0	0	0	0	1	0
American Film Market	0	0	0	3	0	14	14	9	10	4	1	2	0	0	0	0
MIPTV	0	0	0	0	0	15	21	8	10	5	1	3	0	0	0	0
MIPCOM	0	0	1	0	0	17	24	9	15	10	1	1	0	0	2	0
NATPE	0	0	0	0	0	5	6	4	5	1	1	1	0	0	0	0
Shanghai TV Festival	0	0	0	0	0	2	5	6	13	3	0	0	0	0	0	0
ASIA TV Forum	0	0	0	0	0	1	3	2	8	0	0	0	0	0	1	0
BCWW: Broadcast Worldwide	0	0	0	0	0	2	4	5	10	0	1	1	0	0	0	0
SIGGRAPH	7	8	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	3	2	0
ASIAGRAPH	3	145	0	1	0	0	2	0	0	29	0	1	0	0	4	0
CEATEC JAPAN	8	15	4	4	0	2	6	1	2	18	1	2	1	2	5	2
NAB	2	2	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0

問4．あなたご自身についておたずねします。以下の三つの質問について、該当する番号を選び、番号を○で囲んで下さい。

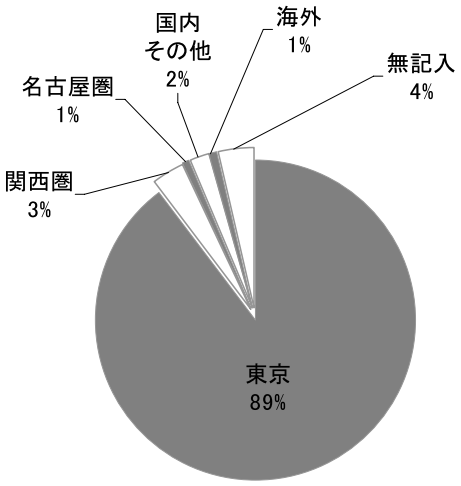
（1）あなたの業種は？（複数回答）



（2）あなたの職種は？

項　目	CEDEC	劇的3時間SHOW	TIFFCOM国内	TIFFCOM海外	日本賞	人材交流・育成セミナー
営業・販促	5%	9%	39%	27%	0%	6%
新聞・出版・編集	2%	4%	2%	5%	0%	2%
宣伝・広報	3%	4%	18%	2%	0%	6%
企画・開発	48%	21%	21%	17%	57%	32%
制作・デザイナー	17%	28%	10%	23%	14%	11%
その他	25%	34%	10%	27%	29%	26%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%	17%

（3）本社の所在地は？
（東京圏実施イベント・業界関係者・国内）



●データ編 （単位は全て件数）

問1. あなたはコ・フェスタについてご存じですか。ご存じの場合、どのように知りましたか。
（1） 以下のA、Bのうち該当するものを一つ選び、記号を○で囲んで下さい。

項 目	TGS ビジネス	TGS 一般	CEDEC	劇的3時間 SHOW	JAM ビジネス	JAM 一般	ASIAGRAPH	TAM 国内	TAM 海外	TIFFCOM 国内	TIFFCOM 海外	MANGA フェスティバル	JLM	日本賞	TCM	人材交流・育成 セミナー	横濱学生映画祭	アニメーション神戸	ACM	京都マンガ シンポジウム
知っていた	292	96	91	417	89	557	61	26	8	50	23	227	46	3	85	119	0	26	3	9
知らなかった	614	995	132	410	106	1,822	57	15	18	16	27	108	23	4	86	66	18	193	18	36
無記入	9	3	0	0	2	85	27	1	4	0	0	0	14	0	0	1	2	4	0	0
合 計	915	1,094	223	827	197	2,379	145	42	30	66	50	335	83	7	171	186	20	223	21	45

（2） 「B. 知っていた。」と答えた方は、以下から、情報源をいくつでも選び、番号を○で囲んで下さい。

項 目	TGS ビジネス	TGS 一般	CEDEC	劇的3時間 SHOW	JAM ビジネス	JAM 一般	ASIAGRAPH	TAM 国内	TAM 海外	TIFFCOM 国内	TIFFCOM 海外	MANGA フェスティバル	JLM	日本賞	TCM	人材交流・育成 セミナー	アニメーション神戸	ACM	京都マンガ シンポジウム
新聞	32	17	5	23	1	17	0	3	0	10	2	14	3	0	6	14	4	0	4
雑誌	36	18	10	25	3	32	3	0	0	3	1	16	2	0	9	5	6	1	0
インターネット	198	43	68	196	33	93	26	4	3	13	8	106	16	0	35	42	15	1	5
テレビ番組	17	15	2	9	0	8	0	1	0	2	1	2	1	0	1	3	0	0	1
店頭ポスター・チラシ	16	7	5	43	22	※15	10	2	0	9	2	27	3	1	7	16	1	1	1
交通広告	8	3	3	20	0	20	0	1	0	4	0	4	2	0	3	11	1	0	1
仕事の取引先から	34	4	10	19	0	※15	8	10	5	17	7	64	6	0	17	28	3	1	1
知人・友人	21	18	24	91	15	22	16	1	3	10	1	29	6	2	29	37	1	1	1
その他	39	3	17	65	5	12	12	6	1	10	5	20	10	1	7	7	2	0	0

※JAMアンケートでは「店頭ポスター・チラシ・取引先」という区分で30件という結果が出ており、ここでは便宜上これを「店頭ポスター・チラシ（15件）」「仕事の取引先から（15件）」に二等分し集計した。

問4. あなたご自身についておたずねします。以下の三つの質問について、該当する番号を選び、番号を○で囲んで下さい。
（1） あなたの業種は？（複数回答）

項 目	CEDEC	劇的3時間 SHOW	TIFFCOM 国内	TIFFCOM 海外	MANGA フェスティバル	日本賞	人材交流・育成 セミナー	京都マンガ シンポジウム
アニメ制作	4	9	8	9	0	1	4	0
玩具・グッズ制作	1	10	1	2	7	0	8	0
音楽制作・音声関係	6	22	2	1	3	0	0	0
ゲーム関係	122	39	1	2	9	0	16	0
映画制作・映像関係	3	66	28	29	8	0	8	0
TV・ラジオ局・番組制作	1	24	13	14	2	3	76	0
電機（器）通信・IT	18	68	1	0	16	0	1	1
広告代理店	4	42	1	2	17	0	3	0
教育関係	6	30	2	2	12	3	20	3
官公庁・各種団体	6	21	7	7	16	0	4	3
商社・流通関係	2	17	3	9	10	0	0	4
金融関係	6	11	1	2	3	0	3	0
その他	44	※ 615	9	6	154	1	40	33
無記入	0	0	0	0	1	0	3	16
合 計	223	974	77	85	258	8	186	60

※劇的3時間SHOWの「その他」615人の内訳は、学生 443 件、その他 172 件である。

（2） あなたの職種は？

項 目	CEDEC	劇的3時間 SHOW	TIFFCOM 国内	TIFFCOM 海外	日本賞	人材交流・育成 セミナー
営業・販促	12	52	32	16	0	12
新聞・出版・編集	4	25	2	3	0	3
宣伝・広報	6	22	15	1	0	11
企画・開発	107	125	17	10	4	59
制作・デザイナー	39	162	8	14	1	20
その他	55	200	8	16	2	49
無記入	0	0	0	0	0	32
合 計	223	586	82	60	7	186

（3） 本社の所在地は？

項 目	劇的3時間 SHOW	TIFFCOM 国内	人材育成 セミナー
東京	576	54	157
関西圏	22	2	3
名古屋圏	7	0	0
国内その他	14	2	0
海外	5	0	3
無記入	0	8	23
合 計	624	66	186

JAPAN 国際コンテンツフェスティバル 2007　実施報告書

発行日：　2008 年 1 月
発　行：　JAPAN 国際コンテンツフェスティバル実行本部
構成・印刷・製本：　ホクエツ印刷㈱
デザイン監修：　㈱サムライ
Printed in JAPAN
© VIPO

住所／〒104-0045 東京都中央区築地 4-1-1　東劇ビル 8F
NPO法人 映像産業振興機構（VIPO）内
電話／03-3543-7321
FAX／03-3543-7322
URL／http://www.cofesta.jp/
E メール／info@cofesta.jp

※本書は著作権法による保護を受けています。
著作権者から文書による許諾を得ずに、無断で複写・複製することは禁じられています。